

財団法人いわき市教育文化事業団設立35周年記念誌

# 35年のあゆみ



財団法人いわき市教育文化事業団シンボルマーク  
制定：平成9年10月1日 デザイン：平山 邦夫

財団法人いわき市教育文化事業団設立35周年記念誌

35年のあゆみ

2014年2月

財団法人いわき市教育文化事業団

2014

財団法人いわき市教育文化事業団

# 35年のあゆみ

# 心新たに

財団法人いわき市教育文化事業団は、昭和 53 年に設立以来 35 年、いわき地域の教育文化振興に寄与する歩みを続けて参りました。

設立当初は、埋蔵文化財の発掘調査やいわき市史編さんなど、市の事業を受託しました。

昭和 63 年にはいわき市音楽館の管理運営を受託し、その後いわき市アンテナナイトセンターなど新設される市の教育文化施設の管理運営を逐次追加受託して参りました。平成 18 年度からは、各受託施設とも市の指定管理者としての指定を受け、以降いわき市音楽館は廃止になりましたが、市の 6 施設の管理運営を担って参りました。

平成 23 年 3 月の東日本大震災では、市の受託施設の一部利用休止となりました。また、その前年 12 月に福島県より指定管理者の指定を受け準備を進めていた福島県いわき海浜自然の家の運営受託の開始も平成 23 年 11 月まで延期されるなど困難を極めました。現在は、埋蔵文化財の発掘調査研究やその啓蒙普及を精力的に務めるほか、県や市の教育文化、生涯学習施設の指定管理者として管理運営するなど、当地域の教育文化行政の一翼を担っております。

更に当財団は、団体自らの運営改善を着実に実行しながら経営の安定を目指し、現在は公益財団法人への移行手続きを進めているところであり、これまで以上に広く教育文化の振興に寄与する事業を行う団体として、市民更には県民の負託に応えてゆく所存です。

今後とも、更なる皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

平成 26 年 2 月 17 日

財団法人いわき市教育文化事業団

理事長 上遠野 洋一

# 設立 35 周年によせて

このたび、財団法人いわき市教育文化事業団が、設立 35 周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

また、いわきの文化行政の一翼を担う組織として、埋蔵文化財の発掘調査、いわき市史の編さん、文化施設の管理運営など 35 年間の長きにわたり教育文化行政に貢献されたことにつきまして深く敬意を表します。

いわきの地は、いにしえより自然環境に恵まれ豊かな歴史が育まれてまいりました。その歴史の解明を行ってきたのが、教育文化事業団であります。埋蔵文化財調査における考古学上の発見や、いわき市史の編さんなどを通して、市民に文化の香りと地域の誇りを届けていただきました。

いわき市内の文化施設のうち、考古資料館をはじめとする 6 施設の運営管理においても、利用者の立場の視点で高い評価を得ていると認識しております。どうか、今後も本市の教育文化活動に御支援・御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、創立 35 周年を機に先の大震災を乗り越え、いわき市が目指す「ふるさといわきの力強い復興と再生」のためにも、更なる組織の発展と皆様の御健勝、御活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成 26 年 2 月 17 日

いわき市長

清水 敏 男

# 設立 35 周年によせて

このたび、財団法人いわき市教育文化事業団が、設立 35 周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

さて、早いもので昭和 53 年の事業団設立から、35 年余りの月日が流れました。設立当初は、高度経済成長期にあたり、いわき市内でも工業団地の造成をはじめとした大規模開発に沸いた時期であり、当時の教育委員会では、埋蔵文化財の保護の対応に大変苦慮したと聞いております。

このような背景から、いわき市の発展に寄与するため全国に先駆けて、財団法人いわき市教育文化事業団が設立され、昭和から平成にかけて、常磐自動車道の整備をはじめとする様々な公共事業や、民間開発にかかる埋蔵文化財の調査・資料の整理・活用がなされました。

また、いわき市史の編さんにおいては、原始から近代にわたる埋蔵文化財や文献の膨大な資料を基に、明解で体系的な理解を得ることのできる史料の整理に尽力され、本市の歴史を語るうえで欠くことのできない調査研究団体としての役割を長年に渡り担ってまいりました。

さらには、市内の教育文化施設の管理運営業務においても、その特質を生かした事業を展開し、教育文化の向上に貢献されております。

結びに、貴財団のますますの御発展と、文化財の保存・継承をはじめとした本市の文化振興に一層寄与されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成 26 年 2 月 17 日

いわき市教育委員会

教育長 吉田 尚

# 目 次

心新たに	財団法人いわき市教育文化事業団 理事長 上遠野 洋一
設立 35 周年によせて	いわき市長 清水 敏男
設立 35 周年によせて	いわき市教育委員会 教育長 吉田 尚

1 設立の沿革	1
(1) 埋蔵文化財事業の経緯	1
(2) 市史編さん事業の経緯	2
(3) 設立の経過	2
2 35 年の足跡	4
3 組織と体制の移り変わり	23
◎ 理事名簿	23
◎ 所属別職員名簿	24
付録 1 調査遺跡一覧	29
付録 2 刊行図書目録	35

# 1 設立の沿革

財団法人いわき市教育文化事業団は、古生物調査事業を含む埋蔵文化財事業と、いわき市史編さん事業の2事業が柱となって設立された。それぞれ、設立されるに至った歴史的背景を踏まえて、その経緯を記録する。

## (1) 埋蔵文化財事業の経緯

昭和25年に文化財保護法が制定されたが、埋蔵文化財関係に進展がみられたのは、昭和30年代に入ってからである。遺跡台帳や全国遺跡地図の作成、重要遺跡の指定などが行われ、埋蔵文化財保護行政の基礎が徐々に形成される方向にむかった。

この間、全国各地では、小規模な学術調査のほかに各種の開発事業や公共事業が増大し、特に昭和40年代から50年代中頃にかけては、「日本列島改造論」の波に乗り、その開発事業の勢いには目をみはるものがあった。これらの開発事業は、いわき市域においても例外ではなく、それに伴う埋蔵文化財、いわゆる遺跡の緊急調査も増加の一途を辿ることとなった。

一方、戦後の静岡県登呂遺跡発掘調査や群馬県岩宿遺跡の発見などをきっかけに、遺跡に対する興味や考古学熱が高まり、その専門分野である考古学に携わる研究者の層が次第に厚くなっていった。いわき地区において最初に行われた発掘調査は、昭和23年5月の高坂古墳群発掘調査と記録されているが、学術・緊急の両調査を合わせた件数でみると、昭和20年代は12件、30年代16件、40年代に入り29件、50年代は実に47件という急激な伸びを示している。

埋蔵文化財発掘調査の規模や体制からみると、昭和20年代から40年代にかけての調査は、小規模かつ短期間のものであり、福島県教育委員会や民間研究者の助力を得て行っていた。このような状況の中で、昭和50年代に入ると、昭和50年7月から翌51年12月までの1年半に亘る長期の現地調査を要する朝日・夕日長者遺跡緊急発掘調査が発生した。この調査については、いわき市教育委員会と民間研究者の方々に、発掘調査委員会を結成して調査に当たったが、担当者や市教育委員会は、専門の調査機関の必要性を痛感したところであった。

昭和52年、好間町に所在する好間中核工業団地造成予定地内に、13万平方メートルもの埋蔵文化財包蔵地があることが判明し、このうち、実際の開発区域である7万平方メートルを文化財保護法に基づき緊急発掘調査することとなった。いわき市教育委員会は、これに対応するには、調査員・補助員・作業員などを含めた組織体による長期の取り組みが必要であるとの結論に達した。

古生物調査事業が、埋蔵文化財調査事業に包括された経緯は次の通りである。

古生物(化石)の調査研究は、地質学の分野とは不可分の関係にある。いわき地区は、本州最大の産炭地である常磐炭田の区域にあたるため、炭鉱地層の研究にともなう地質・層位の調査は、他の地区より早く、しかも綿密に行われてきた。

この炭田地層の研究に携わった、いわき短期大学(現東日本国際大学)の柳澤一郎博士(元当団理事)を中心として、昭和25年に「平地学同好会」が設立され、同会員によるいわきの地

質調査が新たに開始された。

ところで、いわき地区における化石発見の報告例は古く、昭和元年にさかのぼる。大久町発見のクビナガリュウ化石や、昭和2年報告の中神谷所在の立錡神社境内におけるシカ化石の発見などは、早くから化石産出地の宝庫としてのいわき地区の可能性を示唆していた。

その後、昭和31年以降には、高倉山古生層からの化石発見の報が続き、化石調査とその対応について検討を重ねたいわき市教育委員会は、昭和47年に「高倉山古生層」を市指定天然記念物として指定し、三葉虫・二枚貝・アンモナイト・有孔虫等をはじめ貴重な化石類を含む地層を保護すべく現状保存を図った。

このような民間と行政が一体となった調査研究や保護活動の進展は、昭和44年に全国に知られたフタバズキリュウの発見につながり、同46年には、ステゴロフォン（古代ゾウ）化石などが発見されている。このような中、昭和53年には、四倉高校敷地内からイワキクジラが発見され、これを契機として財団設立とともに、化石調査部門が埋蔵文化財調査事業の中に組み入れられることとなった。

## (2) 市史編さん事業の経緯

いわきの地方史研究における発達は、戦前の地誌的郷土史の編さんから、戦後の地方史研究の発展にともなってその成果をより結実させるべく、各市町村史編さんへと展開する過程を経ている。特に昭和30年前後の活発な市町村合併と、明治百年事業や『福島県史』の編さんなどが引きがねとなり、県内各市町村史編さんの機運が高まる一方、個人で編述する「村史」等も多く刊行されていた。

いわきの史的展開の跡を通史的に概説したのは戦後になってからで、地方史研究の深まりにつれ村史や個別研究が発表され、いわきにおける各時代が明らかになってきたといえる。通史として最初に刊行されたのは、いわき地方史研究会編集の『いわきの歴史』（昭和47年刊行）であった。このような、各市町村や個人、団体による研究成果の集成は、より歴史学・郷土史研究の発達へとつながった。

昭和41年10月1日の14市町村合併により、新たに誕生した新市「いわき市」に至るまでの歴史を尊び、また、郷土を愛する精神的支柱として『いわき市史』を刊行したいとの機運が盛りあがった。合併4年を経過した昭和45年「いわき市史編さん委員会」が設立され、いわき市史の編さんが開始された。当初は、事務局をいわき市教育委員会（旧）社会教育課内に置き市史編さんにあたっていたが、財団設立と同時に事務局を市史編さん係として当財団に組み入れた。

## (3) 設立の経過

以上のような埋蔵文化や古生物の研究・調査、およびいわき市史編さんの進展をふまえ、行政の期待は、専門的に対応できる人材の確保とそれらを継続的かつ自主的に運営できる組織体の設立となった。いわき市教育委員会は、他県の先進地におもむいて類似施設を視察するなどの調査および検討を重ね、次のような事務手順を経て当財団を設立させた。



- 昭和52年 11月14日 第13回いわき市教育委員会において、財団法人設立構想案について協議する。
- 昭和53年 1月6日 財団法人設立について、福島県教育庁総務課より事務指導を受ける。
- 1月9日 第17回いわき市教育委員会において、財団法人設立案について協議する。
- 1月31日 いわき市議会文教常任委員会に対し、財団法人設立案を説明する。
- 3月2日 財団法人いわき市教育財団（仮称）設立準備委員会を開催する。
- 3月16日 福島県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則に基づく、民法第34条に規定する財団法人としての設立許可申請書を福島県に提出する。
- 3月22日 福島県教育委員会指令教総第69号により、財団設立について許可される。
- 4月1日 財団法人いわき市教育文化事業団が発足する。
- 4月7日 福島地方法務局平支局において設立登記を完了する。



いわき市考古資料館展示室（土器のうつりかわり）



いわき市アンモナイトセンター展示室



いわき市立草野心平記念文学館（カエル・コレクション展）



いわき市暮らしの伝承郷旧猪狩家（伝承行事会津万歳）

## 2 35年の足跡

財団法人いわき市教育文化事業団は昭和53年に設立し、埋蔵文化財調査事業および市史編さん事業を受託した。

その後、施設管理運営事業については、いわき市教育委員会から「いわき市音楽館」の管理運営について申し入れがあり、昭和63年8月24日の理事会により寄附行為第4条に「教育文化施設の管理運営」の事業があらたに加えられた。同年8月26日、福島県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則第7条に基づく寄附行為変更許可申請書を提出し、福島県教育委員会指令教総第422号により許可された。これにより、昭和63年9月、いわき市平字三崎1番地の6に開館した「いわき市音楽館」の管理を受託する。これを契機として、以後、「いわき市アンモナイトセンター」・「いわき市考古資料館」・「いわき市立草野心平記念文学館」・「いわき市暮らしの伝承郷」・「いわき市生涯学習プラザ」・「いわき市草野心平生家」・「福島県いわき海浜自然の家」の各施設を受託し、現在に至る。その概要は、つぎの通りである。

- |          |   |
|----------|---|
| 昭和53年4月  | 財団法人いわき市教育文化事業団設立。<br>事務局をいわき市文化センター（いわき市堂根町1番地の4）内に設置。市史編さん事業受託、埋蔵文化財発掘調査開始。   |
| 昭和62年7月  | 埋蔵文化財収蔵施設を「城東分室」（いわき市平字城東一丁目7番地の16）へ移転。   |
| 昭和63年8月  | いわき市音楽館管理運営受託（昭和63年9月開館）。   |
| 平成2年2月   | 設立10周年記念「よみがえるいわきの歴史」開催。  |
| 平成2年4月   | 事務局を「いわき市埋蔵文化財収蔵・展示施設」（いわき市中央台東立いわき公園内）内に移転。  |
| 平成4年11月  | 「いわき市アンモナイトセンター」管理運営受託（11月開館）。<br>設立15周年記念事業「古代陸奥国といわきの歴史」展開催。  |
| 平成6年6月   | 市史編さん事業終了。  |
| 平成9年8月   | 「いわき市埋蔵文化財収蔵・展示施設」が「いわき市考古資料館」として常磐藤原町に移転。「いわき市考古資料館」管理運営受託（12月開館）。事務局を同施設（いわき市常磐藤原町手這50番地の1）内に移転する。<br>設立20周年記念事業「いわきの発展と事業団20年の軌跡」展開催。事業団シンボルマーク制定。 |
| 平成10年4月  | 「いわき市立草野心平記念文学館」管理運営受託（7月19日開館）。  |
| 平成11年4月  | 「いわき市暮らしの伝承郷」管理運営受託（7月18日開園）。   |
| 平成14年4月  | 「いわき市生涯学習プラザ」運営管理受託（4月16日開館）。   |
| 平成15年4月  | 「いわき市草野心平生家」管理運営受託（4月10日開館）。  |
| 平成17年12月 | 指定管理制度により、「いわき市音楽館」ほか6施設について指定管理者として指定される。  |
| 平成18年4月  | 指定管理者として、いわき市から委託を受けた施設の管理運営を開始する。  |
| 平成19年3月  | 「いわき市音楽館」廃館により指定管理終了。   |
| 平成22年12月 | 福島県から「福島県いわき海浜自然の家」について指定管理者として指定される。   |

## 昭和 53 年度 (1978)

4月1日(土)、財団法人いわき市教育文化事業団が、いわき市教育委員会の外郭団体として発足する。

埋蔵文化財事業(古生物調査研究事業を含む)、いわき市史編纂事業の2部門で事業を開始する。

埋蔵文化財事業では、いわき好間中核工業団地内埋蔵文化財発掘調査(愛谷遺跡)や国道49号平バイパス路線内遺跡分布調査、国道6号常磐バイパス日吉下遺跡試掘調査の事業3件を実施した。

古生物調査研究事業では、四倉町四倉高校敷地内校庭拡張工事とともに、クジラ化石等の発掘調査を実施した。

市史編さん事業では、「第6巻文化」を刊行した。

啓蒙普及事業として、「愛谷遺跡の考古資料展」をいわき市文化センターにて開催し、「愛谷遺跡の概要」を刊行した。

### 1978年のできごと

#### ☆いわき

- ・勿来の関荘開設。
- ・白水阿弥陀堂橋復元、渡り初め。
- ・第1回吉野せい文学賞表彰式。
- ・湯ノ岳山荘落成。
- ・植田公民館落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・成田空港開港。
- ・日中平和友好条約調印。
- ・キャンデイズ解散。
- ・ドミニカ独立。

#### ☆流行語

「ナンチャッテ」

## 昭和 54 年度 (1979)

埋蔵文化財事業では、愛谷遺跡、八幡台遺跡、内宿遺跡の発掘調査及び報告書作成、国道49号路線内分布調査、また檜葉町教育委員会委託による檜葉町所在天神原遺跡の発掘調査・報告書作成など5件の事業を実施した。

市史編さん事業では「第11巻近代資料Ⅱ(上)」を刊行した。

啓蒙普及事業として、「ふるさとの考古資料展」をいわき市文化センターにて共催し、展示解説書として「ふるさとの考古資料」を刊行した。また昭和45年6～7月、昭和46年8～10月に発掘調査された「大畑貝塚調査報告書」を重版刊行した。

### 1979年のできごと

#### ☆いわき

- ・いわきニュータウンが起工。
- ・中之作・久ノ浜魚市場落成。
- ・水道局本庁舎落成。
- ・小川公民館落成。

#### ☆福島・日本・世界

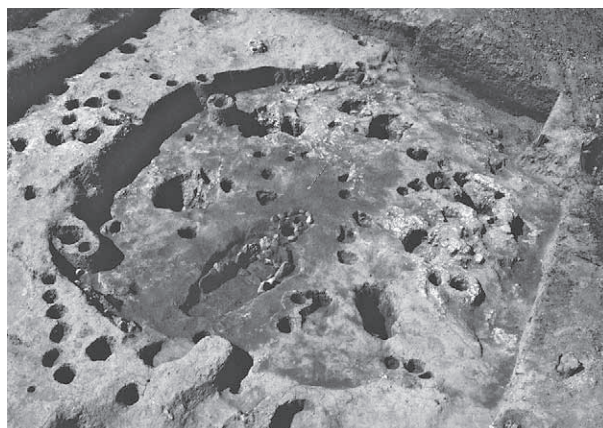
- ・国立大学共通一次試験。
- ・ワープロ登場。
- ・東京サミットが開催
- ・インベーダーゲーム流行。
- ・イラン革命。

#### ☆流行語

「キャリアウーマン」



愛谷遺跡調査状況 (いわき市好間町)



愛谷遺跡で検出された縄文時代中期の竪穴住居跡

## 昭和 55 年度 (1980)

埋蔵文化財事業では、愛谷遺跡、日吉下遺跡、竹之内遺跡などの発掘調査、及び常磐バイパス路線内試掘調査による日吉下遺跡の範囲確認など 4 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、四倉町四倉高校敷地内体育館改築工事とともにクジラ化石等の発掘調査を実施した。

市史編さん事業では、市史編さんに加え四時ダム建設とともに埋没地区の現地調査と報告書作成を受託し、地質・生物・地理・民俗の各研究者 10 名を委嘱して報告書を刊行した。

啓蒙普及事業として、「いわき市の文化財」、「竹之内遺跡の概要」などを刊行し、「いわきの絵図展」をいわき市文化センターにて開催した。

### 1980 年のできごと

#### ☆いわき

- ・大久町で巨大アンモナイト発見。
- ・いわき好間中核工業団地が起工。
- ・内郷公民館落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・スポーツドリンク登場。
- ・モスクワオリンピック日本不参加。
- ・異常低温。

#### ☆流行語

「とらば一ゆ」

## 昭和 56 年度 (1981)

埋蔵文化財事業では、弾正作横穴群 A・B・C 地区、四郎作遺跡、白水阿弥陀堂などの発掘調査及び日吉下遺跡、内宿遺跡、竹之内遺跡などの報告書作成、また明神平遺跡・諸荷遺跡他の試掘調査など 14 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、大久町大久字入間沢地区のクビナガリュウ化石発掘調査を含む 6 件の調査を実施した。

市史編さん事業では、「第 11 巻近代資料Ⅱ(下)」を刊行した。

啓蒙普及事業として、「いわきの化石・岩石展」をいわき市文化センターにて共催し、展示図録として「いわきの化石・岩石」を作成した。また、「弾正横穴群の概要」を刊行、「四時ダム建設予定区域内学術調査報告書」(調査概要)を増刷頒布した。

### 1981 年のできごと

#### ☆いわき

- ・ゴミ分別処理開始。
- ・レンガ通り開通。
- ・勿来体育館落成。
- ・市制 15 周年を記念し、いわき踊り発表。

#### ☆福島・日本・世界

- ・初の写真週刊誌刊行。
- ・福井謙一ノーベル化学賞受賞。
- ・中国残留孤児初来日。
- ・ダイアナ妃結婚。

#### ☆流行語

「キャリアウーマン」



クジラ化石の発掘調査状況 (福島県立四倉高等学校)



弾正作横穴群調査状況 (いわき市好間町)

## 昭和 57 年度 (1982)

埋蔵文化財事業では、龍門寺遺跡、薄磯貝塚などの発掘調査、四郎作遺跡の報告書作成、上野遺跡、岸遺跡他の試掘調査など 13 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、大久町大久字入間沢地内のクビナガリュウ化石発掘調査をはじめ、小名浜大原地内の第四紀動物化石群発掘調査など 9 件の調査を実施した。

市史編さん事業では、「第 1 巻」などの資料収集作業等をすすめながら、「第 10 巻近代資料 I (上)」を刊行した。

啓蒙普及事業として、「いわきの工芸展」をいわき市文化センターにて共催した。「薄磯貝塚」、「内宿遺跡」、「竹之内遺跡」を増刷頒布した。また、この年埋蔵文化財情報誌「発掘ニュース」を創刊し、第 1～6 号を発行した。

### 1982 年のできごと

#### ☆いわき

- ・市総合体育館落成。
- ・撫順市友好都市締結調印式。
- ・いわき市長田畑金光氏 3 選。

#### ☆福島・日本・世界

- ・東北新幹線開通。
- ・ホテルニュージャパン火災。
- ・500 円硬貨発行。
- ・C D プレーヤー登場。
- ・フォークランド紛争。

#### ☆流行語

「うっそー」「ほんとー」「かわいいー」

## 昭和 58 年度 (1983)

埋蔵文化事業では、弾正作横穴群、常磐自動車道埋蔵文化財発掘調査(白米中坪遺跡)、および砂屋戸荒川館跡試掘調査など 14 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、いわきクビナガリュウ骨格復元模型の作成や、平谷川瀬地内の根木作動物化石発掘調査などを含む 4 件の事業を実施した。

市史編さん事業では、「第 10 巻近代資料 I (下)」を刊行した。「第 1 巻」、「別巻」他の資料収集作業などを実施した。

啓蒙普及事業として、「ふるさとの考古資料展Ⅱ」及び「いわきの浜と生活展」をいわき市文化センターにて共催した。「龍門寺遺跡の概要」、「ふるさとの考古資料Ⅱ」を刊行し、「発掘ニュース第 7 号」を発行した。

### 1983 年のできごと

#### ☆いわき

- ・四倉図書館落成。
- ・第 1 回ミスいわきコンテスト開催。
- ・四時ダム竣工。
- ・市立美術館落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・東京ディズニーランド開園。
- ・日本海中部地震。
- ・ファミコン登場。
- ・三宅島大噴火。

#### ☆流行語

「義理チョコ」



ノコギリエイ化石調査状況 (いわき市大久町)



龍門寺遺跡調査状況 (いわき市平下荒川)

## 昭和 59 年度 (1984)

埋蔵文化財事業では、常磐自動車道埋蔵文化財発掘調査（白米中坪遺跡・上ノ台遺跡）、砂屋戸荒川館跡発掘調査など 14 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、いわき市産出古生物発掘調査、いわき市石炭・化石館骨格標本 10 点の組み立て・据え付けなど 3 件の事業を実施した。

市史編さん事業では、「第 1 巻」、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集・執筆・編集作業を実施した。

啓蒙普及事業では、「いわきの宝物展」をいわき市文化センターにて共催し、いわき市内の国・県・市指定文化財などを展示した。「日吉下遺跡・四郎作遺跡」を増刷頒布した。「発掘ニュース第 8 号」を発行した。

### 1984 年のできごと

#### ☆いわき

- ・中央台北中学校開校。
- ・いわき市東京事務所開設。
- ・草野心平氏名誉市民。
- ・石炭・化石館開設。
- ・いわき市立美術館開館。

#### ☆福島・日本・世界

- ・植村直己マッキンリー登頂。
- ・1 万円、5 千円、千円新札発行。
- ・ロサンゼルスオリンピック開催。

#### ☆流行語

「オシンドローム」

## 昭和 60 年度 (1985)

埋蔵文化財事業では、平バイパス遺跡発掘調査（石坂遺跡・寺台遺跡・向山遺跡・久世原館跡）、米田条里制遺構発掘調査など 17 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、いわき市産出古生物化石のクリーニング作業、いわきニュータウン産出ゾウ化石の産状模型作成などを含む 3 件の事業を実施した。

市史編さん事業では、「第 1 巻原始・古代・中世」を刊行した。「別巻」、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集などを実施した。

啓蒙普及事業では、「いわきの宝物展Ⅱ」をいわき市文化センターにて共催した。「砂屋戸荒川館調査概要」の刊行、「いわきの宝物展」、「龍門寺遺跡」を増刷頒布した。

「発掘ニュース第 9～11 号」を発行した。

### 1985 年のできごと

#### ☆いわき

- ・いこいの里川前鬼ヶ城開設。
- ・いわきマリンタワー開設。
- ・川前、大野、飯野公民館落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・両国国技館落成。
- ・つくば科学万博が開幕。
- ・男女雇用機会均等法公布。
- ・日航ジャンボ墜落事故。
- ・メキシコ大地震。

#### ☆流行語

「私はコレで会社を辞めました」



砂屋戸荒川館跡全景（いわき市明治団地）



復元された竪穴住居（いわき市小名浜 綱取貝塚）

## 昭和 61 年度 (1986)

埋蔵文化財事業では、市道内郷駅平線内埋蔵文化財発掘調査（久世原館跡・番匠地遺跡）、綱取貝塚、小申田横穴群発掘調査など 13 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、いわき市内産出の古生物化石のクリーニング・保存処理作業などを実施した。

市史編さん事業では、「別巻常磐炭田史」、「第 3 巻近代 I」、「第 4 巻近代 II」の資料収集・執筆・編集などを実施した。

啓蒙普及事業は、市内出土の重要考古資料を展示した「いわきの考古展」をいわき市文化センターにて開催した。同展図録及び「久世原館跡・番匠地遺跡の概要 I」を刊行し、「弘源寺貝塚」、「向山遺跡」を増刷頒布、「発掘ニュース第 12～14 号」を発行した。

### 1986 年のできごと

#### ☆いわき

- ・時代まつり開始。
- ・海竜まつり開始。
- ・8/8 水害甚大。
- ・岩城町と親子都市締結調印式。
- ・中田武雄市長誕生。

#### ☆福島・日本・世界

- ・ソ連、チェルノブイリ事故。
- ・カラー複写機登場。
- ・三原山噴火。
- ・バブル景気始まる。

#### ☆流行語

「究極」

## 昭和 62 年度 (1987)

埋蔵文化財事業では、常磐バイパス遺跡発掘調査（小山遺跡・中山館跡Ⅱ区・Ⅲ区）、平バイパス遺跡発掘調査（稲荷原遺跡・御台横穴 A 群他）など 16 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、いわき市内産出の古生物化石のクリーニング・保存処理作業などを実施した。

市史編さん事業では、「別巻常磐炭田史」、「第 3 巻近代 I」、「第 4 巻」の資料収集・執筆・編集などを実施した。

啓蒙普及事業では、「いわきの祈り展」をいわき市文化センターにて、いわき地域学会やいわき博物館設立研究会などと共催した。「久世原館跡・番匠地遺跡の概要Ⅱ」を刊行し、「夏井寺遺跡Ⅰ」、「朝日長者遺跡・夕日長者遺跡」などを増刷頒布し、「発掘ニュース第 15・16 号」を発行した。

### 1987 年のできごと

#### ☆いわき

- ・いわき明星大学開校。
- ・勿来まつり開始。
- ・四倉支所改築落成。
- ・中央卸売市場花卉部落成。
- ・平窪公民館落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・南極捕鯨に終止符。
- ・国鉄民営化。
- ・ニューヨークで株価大暴落。
- ・コードレス電話機登場。

#### ☆流行語

「マルサ」



小申田横穴群遺物出土状況（いわき市小川町）



番匠地遺跡で検出された水田跡（いわき市内郷御厩町）

## 昭和 63 年度 (1988)

埋蔵文化財事業では、綱取貝塚第 8 次調査、折返 B 遺跡発掘調査、馬渡遺跡発掘調査など 16 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業は、いわき市内産出の古生物化石のクリーニング・保存処理作業などを実施した。

市史編さん事業では、「別巻」、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集・執筆・編集等を実施した。

施設管理事業では、平字三崎 1 番地 6 に開館した「いわき市音楽館」(以下、「音楽館」という)の管理運営をいわき市より受託した。

啓蒙普及事業では、「いわきの江戸時代展」をいわき市文化センターで共催した。「小甲田横穴群」、「磐城平城下復元図」などを増刷頒布、「いわき市教育文化事業団研究紀要」を創刊した。全 13 回の市民講座を、いわき市文化センターで開催した。

### 1988 年のできごと

#### ☆いわき

- ・常磐自動車道開通。
- ・「勿来関文学歴史館」開館。
- ・草野心平氏死去。
- ・国道 49 号平バイパス開通。

#### ☆福島・日本・世界

- ・佐藤栄佐久知事誕生。
- ・青函トンネル開通。
- ・瀬戸大橋開通。
- ・東京ドーム落成。
- ・ソウルオリンピック開催。

#### ☆流行語

「ペレストロイカ」

## 平成 元 年度 (1989)

埋蔵文化財事業では、常磐バイパス荒田目条里遺跡・砂畑遺跡発掘調査など 15 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、現生クジラの骨格組立やいわき市内産出古生物化石の複製模型作成事業などを実施した。

市史編さん事業では、「別巻常磐炭田史」を刊行し、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集などを実施した。

啓蒙普及事業では、事業団設立 10 周年記念事業として、「よみがえるいわきの歴史展」及び記念講演会をいわき市文化センターにて開催し、同展図録を刊行、福島民報に「10 年のあゆみ」(全 20 回)、いわき民報に「10 年の航跡」(全 50 回)を寄稿した。「発掘ニュース第 19～26 号」を発行した。また、「いわき市勿来関文学歴史館」の新展示品等作成および指導を実施した。

### 1989 年のできごと

#### ☆いわき

- ・常磐バイパス上矢田～下荒川開通。
- ・好間支所落成。
- ・いわき湯本温泉に改称。
- ・中部衛生センター落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・昭和天皇崩御。
- ・天安門事件起こる。
- ・吉野ヶ里遺跡発見。
- ・消費税 3 % 実施。
- ・ベルリンの壁崩壊。

#### ☆流行語

「オバタリアン」



いわき市音楽館外観 (いわき市平字三崎)



馬渡遺跡古墳調査状況 (いわき市常磐下船尾)



## 平成 2 年度 (1990)

分散していた事務局と遺物整理室（城東分室）が、県立いわき公園内に新設された「いわき市埋蔵文化財収蔵・展示施設」に移転した。

埋蔵文化財事業では、常磐バイパス遺跡（小茶円遺跡）、平バイパス遺跡（清水遺跡）発掘調査など 13 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、ふるさと創生事業化石発掘学術調査など 3 事業を、市史編さん事業では、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集等を実施した。

啓蒙普及事業では、「ふるさと創生『海竜の里』化石展」をいわき市文化センターで共催し、入間沢で「化石体験発掘」を実施した。「いわき市教育文化事業団年報」を創刊した。「いわき市教育文化事業団文化財友の会」（以下、「文化財友の会」という）が設立された。

### 1990 年のできごと

#### ☆いわき

- ・市役所第 2・第 4 土曜日の閉庁実施。
- ・豊間出張所落成。
- ・いわき宇宙塾開校。
- ・岩城光英市長誕生。

#### ☆福島・日本・世界

- ・文仁殿下が紀子妃と結婚。
- ・ドイツ共和国成立。
- ・沖縄花と緑の博覧会。
- ・湾岸危機おこる。

#### ☆流行語

「コギャル」

## 平成 3 年度 (1991)

業務の多様化に応えるため、機構改革を実施し、従来の庶務係を企画管理係に、調査係を調査第 1 係と調査第 2 係に拡充・改称した。

埋蔵文化財事業では、東北横断自動車道いわき新潟線埋蔵文化財部分発掘調査（差塩遺跡・匠番柵館跡）など 13 件の事業を実施した。

古生物調査研究事業では、プレシオサウルスの模型製作や海竜の里センター資料展示など 3 事業を実施した。

市史編さん事業では、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集等を実施した。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業「発掘調査遺跡巡り」、広報いわきに「地名でたどるいわきの歴史」（全 17 回）を連載、「年報 2」、「研究紀要第 3 号」を刊行した。

### 1991 年のできごと

#### ☆いわき

- ・いわきコンピューターカレッジ開校。
- ・泉出張所落成。
- ・海竜の里開設。
- ・県立いわき公園開園。

#### ☆福島・日本・世界

- ・湾岸戦争勃発。
- ・雲仙普賢岳火砕流。
- ・ロシア連邦成立。

#### ☆流行語

「地球に優しい」



荒田目条里制遺構・砂畑遺跡調査状況（いわき市平荒田目）



清水遺跡掘立柱建物群完掘全景（いわき市小島町）

## 平成 4 年度 (1992)

埋蔵文化財事業では、東北横断自動車道いわき新潟線(小野町地内)埋蔵文化財発掘調査など 15 件の事業を実施した。

施設管理事業では、11 月に「いわき市アンモナイトセンター」(以下、「アンモナイトセンター」という)が大久町大久字鶴房 147 番地の 2 に開館し、2 施設の管理運営を受託することとなった。

古生物整理事業では、クリプトクリダスのクリーニング作業やいわき市石炭・化石館収蔵資料の整理、市史編さん事業では、「第 3 巻」、「第 4 巻」の資料収集等を実施した。

啓蒙普及事業では、事業団設立 15 周年記念事業として、「古代陸奥国といわきの歴史展」と公開講演会、「第 19 回古代城柵館衙検討会」のいわき開催を後援した。「研究紀要第 4 号」を刊行、「発掘ニュース第 27～37 号」を発行した。

### 1992 年のできごと

#### ☆いわき

- ・平三町目じゃんがらからくり時計設置。
- ・市の土曜閉庁実施。
- ・市のシンボルマーク発表。
- ・田人おふくろの宿開設。

#### ☆福島・日本・世界

- ・東海道新幹線のぞみ登場。
- ・山形新幹線開業。
- ・パルセロナオリンピック開催。

#### ☆流行語

「きんさん・ぎんさん」

## 平成 5 年度 (1993)

埋蔵文化財事業では、荒田目条里遺跡、泉第三土地区画整理事業(菅俣 B 遺跡・折返 A 遺跡・神力前 B 遺跡)、相子島貝塚発掘調査など 20 件の事業を実施した。

古生物整理事業の本拠地を平成 4 年からアンモナイトセンターに移動、あわせて施設管理運営を継続して実施している。

市史編さん事業では、「第 3 巻近代 1」を刊行した。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業「文化財巡り」や「やさしい文化財教室」(全 4 回)、赤井公民館講座、夏井公民館での「発掘調査報告会」、各発掘調査遺跡で現地説明会を実施した。「年報 4」、「研究紀要第 5 号」を刊行、「発掘ニュース第 38～41 号」を発行した。

### 1993 年のできごと

#### ☆いわき

- ・大浦公民館落成。
- ・市女性情報誌「Wing」創刊。
- ・いわき光洋高校開校。
- ・夏井川溪谷キャンプ場開設。

#### ☆福島・日本・世界

- ・福島空港開港。
- ・Jリーグ開幕。
- ・皇太子殿下、雅子様ご成婚。
- ・北海道南西沖地震。
- ・田中角栄元首相死去。

#### ☆流行語

「サポーター」



いわき市アンモナイトセンター外観 (いわき市久之浜町)



荒田目条里制遺構調査状況 (いわき市平荒田目)

## 平成6年度 (1994)

埋蔵文化財事業では、常磐自動車道東京巨理線埋蔵文化財（五反田A遺跡・上ノ台遺跡・太平B遺跡他）、いわき浪江線遺跡（白岩バイパス白岩横穴群・白岩堀ノ内館跡）など21件の事業を実施した。

市史編さん事業では、「第4巻近代Ⅱ」を刊行し、長きにわたった市史編さん業務を完了させた。

啓蒙普及事業では、「荒田目条里遺跡出土の木簡展」をいわき市文化センターで開催し、あわせて講演会を実施した。また、文化財友の会事業「文化財巡り」や「やさしい文化財講座」、赤井公民館講座などを実施した。「年報5」、「研究紀要第6号」などを刊行した。「発掘ニュース」は、第44号から「文化財ニュースいわき」に改称し、第46号まで発行した。

### 1994年のできごと

#### ☆いわき

- ・いわき市民プール開設。
- ・小名浜サンマリーナ開設。
- ・平駅がいわき駅に改称。
- ・いわき百景決まる。
- ・川部公民館落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・松本サリン事件が発生。
- ・三内丸山遺跡が注目。
- ・大江健三郎氏ノーベル文学賞を受賞。
- ・ルワンダで難民。

#### ☆流行語

「同情するなら金をくれ」

## 平成7年度 (1995)

埋蔵文化財事業では、久之浜バイパス遺跡（連郷遺跡他）、湯長谷館跡発掘調査、登館跡発掘調査など30件の事業を実施した。

施設管理事業では、アンモナイトセンターで化石の体験発掘を実施した他、クビナガリュウや中新世ヒゲクジラ等の化石クリーニングを行った。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業として2回の「文化財巡り」や「やさしい文化財講座」を実施した。また、各発掘調査遺跡による現地説明会などを実施している。「年報6」、「研究紀要第7号」を刊行、「文化財ニュースいわき第47～50号」を発行した。

このほか、学芸員資格取得支援の一環として、川村学園女子大学の史跡案内などを実施した。

### 1995年のできごと

#### ☆いわき

- ・21世紀の森開園。
- ・学校週休5日制。
- ・いわき未来づくりセンター開設。
- ・東日本国際大学開校。

#### ☆福島・日本・世界

- ・ふくしま国体開催。
- ・阪神淡路大震災。
- ・地下鉄サリン事件。
- ・野茂茂雄、米で初登板。

#### ☆流行語

「がんばろう KOBE」



根岸遺跡礎石建物跡検出状況（いわき市平下大越）



上ノ原経塚青銅製経筒出土状況（いわき市好間町）

## 平成 8 年度 (1996)

埋蔵文化財事業では、久之浜バイパス遺跡（連郷B遺跡・大場C遺跡他）、いわき浪江線遺跡（永田遺跡他）、一般県道旅人勿来線埋蔵文化財（松ノ下遺跡）、花ノ井遺跡発掘調査など 37 件の事業を実施した。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業として青森県三内丸山遺跡や宮城県斎藤報恩会自然史博物館などへの「文化財巡り」や「やさしい文化財講座」を実施した。また各発掘調査遺跡による現地説明会などを実施した。「年報 7」、「研究紀要第 8 号」を刊行、「文化財ニュース第 51 ～ 54 号」を発行した。

### 1996 年のできごと

#### ☆いわき

- ・福島県いわき海浜自然の家が開設。
- ・恐竜フェア開催。
- ・SEA WAVE FM いわき開局。

#### ☆福島・日本・世界

- ・デジタル放送開始。
- ・O157 大流行。
- ・水俣病訴訟和解。
- ・アトランタオリンピック開催。

#### ☆流行語

「ルーズソックス」

## 平成 9 年度 (1997)

埋蔵文化財事業では、泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財（菅俣 B 遺跡 2 区他）、一般県道白岩久之浜線埋蔵文化財（連郷遺跡）、いわき浪江線遺跡（下川子田横穴群）など 32 件の事業を実施した。

施設管理事業では、「いわき市考古資料館」（以下、「考古資料館」という）が 12 月に常磐藤原町手這 50 番地の 1 に開館した。事務局及び埋蔵文化財収蔵・整理・展示施設もあわせて移転し、3 施設の管理運営を受託することとなった。

「(仮称) 草野心平記念文学館」の開館準備にかかる、文学資料調査事務を受託した。

啓蒙普及事業では、設立 20 周年事業として記念式典を開催、シンボルマークを制定し、展示会・講演会・体験講座・記念品作成などを行った。「文化財ニュース第 55 ～ 57 号」を発行した。

### 1997 年のできごと

#### ☆いわき

- ・市役所出前講座開始。
- ・地図情報システム稼働。
- ・ごみ細分別収集スタート。
- ・四家啓助市長誕生。

#### ☆福島・日本・世界

- ・ペルー日本大使館占拠事件が解決。
- ・消費税 5% になる。
- ・火星に探査機着陸。
- ・マザーテレサ死去。
- ・香港返還。

#### ☆流行語

「成田離婚」



大谷遺跡縦穴住居跡完掘状況（いわき市平中平窪）



下川子田横穴群全景（いわき市四倉町）

## 平成 10 年度 (1998)

埋蔵文化財事業では、久之浜バイパス遺跡（石坪遺跡他）、根岸遺跡第9次、平窪諸荷遺跡、湯長谷館跡発掘調査、勿来錦第一区画整理事業地内埋蔵文化財（鷲内遺跡）試掘調査など39件の事業を実施した。

施設管理事業では、「いわき市立草野心平記念文学館」（以下、「文学館」という）が、7月に小川町高萩字下夕道1番地の39に開館し、4施設の管理運営を受託することとなった。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業「文化財巡り」、各発掘調査遺跡の現地説明会などを実施した。「年報9」、「研究紀要第10号」を刊行、「文化財ニュースいわき第58～60号」を発行した。

### 1998年のできごと

#### ☆いわき

- ・三和に救急車配置。
- ・「ゆったり館」開館。
- ・情報公開制度開始。
- ・遠野オートキャンプ場開園。

#### ☆福島・日本・世界

- ・しし座流星群観測。
- ・長野冬季オリンピック開催。
- ・原宿歩行者天国廃止。
- ・サッカーワールドカップフランス大会開催。

#### ☆流行語

「だっちゅーの」

## 平成 11 年度 (1999)

埋蔵文化財事業では、泉第三土地区画整理事業埋蔵文化財（神力前B遺跡11区～17区・折返B遺跡4区～5区）、一般県道旅人勿来線遺跡（松ノ下遺跡）、久之浜バイパス遺跡（石坪遺跡他）、広野町県道上北迫線新設工事に伴う埋蔵文化財（堂ノ原遺跡）発掘調査など12件の事業を実施した。

施設管理事業では、「いわき市暮らしの伝承郷」（以下、「伝承郷」という）が、7月に鹿島町下矢田字散野14番地の1（中央台・県立いわき公園内）に開館し、5施設の管理運営を受託することとなった。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業「考古資料館周辺文化財巡り」など2回の「文化財巡り」、各発掘調査遺跡の現地説明会などを実施した。

### 1998年のできごと

#### ☆いわき

- ・常磐自動車道いわき中央～四倉間開通。
- ・「子どもセンター」開設。
- ・両陛下来市。
- ・図書情報システム稼働開始。

#### ☆福島・日本・世界

- ・コメ市場開放。
- ・全日空ハイジャック事件。
- ・東海村臨界事故。
- ・トルコで大地震。

#### ☆流行語

「カリスマ」



いわき市立草野心平記念文学館（いわき市小川町）



いわき市暮らしの伝承郷民家ゾーン（いわき市中央台）

## 平成 12 年度 (2000)

埋蔵文化財事業では、磐崎中学校地内埋蔵文化財（湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡）、市道横山富岡線地内埋蔵文化財（横山古墳群）発掘調査など 19 件の事業を実施した。

施設管理事業では、5 施設の教育施設を受託した。文学館では、「第 2 回収蔵品展 草野心平年次詩集凹凸の道」や「野口雨情展」などの企画展および「三猿文庫整理業務」を実施した。伝承郷では、「ものを作る いわきの職人技」などの企画展を開催している。

啓蒙普及事業では、「いわき市ライブいわきミュウじあむ開館 3 周年記念企画展」を「いわき・ら・ら・ミュウ」にて共催している。文化財友の会事業「貝塚見学会」や火おこしなどの「体験学習会」を実施した。「年報 11」、「研究紀要第 11 号」を刊行、「文化財ニュースいわき第 63・64 号」を発行した。

### 2000 年のできごと

#### ☆いわき

- ・常磐バイパス開通。
- ・福島県内初の中・高一貫校開校。
- ・「アクアマリンふくしま」開館。
- ・共立病院 50 周年。

#### ☆福島・日本・世界

- ・介護保険制度スタート。
- ・ハッピーマンデー制度適用。
- ・三宅島噴火。
- ・シドニーオリンピックで高橋尚子が金メダル。

#### ☆流行語

「IT 革命」

## 平成 13 年度 (2001)

埋蔵文化財事業では、下小川梅ノ作線道路改良事業埋蔵文化財（梅ノ作瓦窯跡群）の発掘調査など 25 件の事業を実施した。梅ノ作瓦窯跡群は夏井廃寺や根岸遺跡に瓦を供給していたことが知られていたが、今回の本格的な調査で詳細が明らかになった。

施設管理事業では、5 教育施設を受託した。考古資料館では、火おこしや勾玉作りなどの体験学習会や発掘調査遺跡報告会を、文学館は、「草野心平の画」や「三猿文庫展」、「中原中也展」などの企画展及び関連講演会、伝承郷では、「万祝 ー大漁を祝うー」や「古民家模型展」などの企画展と関連講演会を開催した。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業として 2 回の「文化財巡り」などを実施し、「年報 12」を刊行した。

### 2001 年のできごと

#### ☆いわき

- ・「勿来関文学歴史館」リニューアル。
- ・うつくしま未来博。
- ・いわき市の景観を守り育て創造する条例施行。
- ・市の魚、「めひかり」に制定。

#### ☆福島・日本・世界

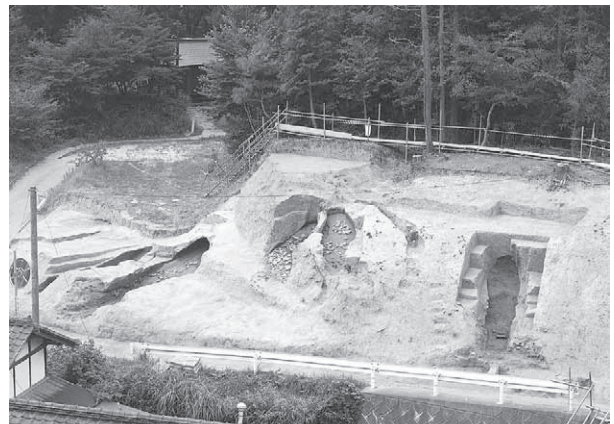
- ・うつくしま未来博開催。
- ・ディズニーシー開園。
- ・愛子様誕生。
- ・アメリカ同時多発テロ事件。

#### ☆流行語

「感動した！」



湯長谷館跡調査状況（いわき市常磐下湯長谷町）



梅ノ作瓦窯跡群全景（いわき市小川町）

## 平成 14 年度 (2002)

埋蔵文化財事業では、国道 49 号北好間防災事業埋蔵文化財（入藪 B 遺跡）発掘調査など 17 件の事業を実施した。

施設管理事業では、4 月に平字一丁目 1 番地にオープンした「いわき市生涯学習プラザ」（以下「学習プラザ」という）を加え、6 施設の管理運営を受託することとなった。考古資料館では、「ふるさとの歴史講座」など、アンモナイトセンターでは久之浜漁港祭りに参加して「移動体験発掘」などを実施、文学館では「草野心平への手紙」や「昭和戦前のいわき 詩風土の開花展」など、伝承郷では「いわきの絵馬展」や「山の暮らし展」などの企画展を開催した。

啓蒙普及事業では、文化財友の会事業として 2 回の「文化財巡り」や「ふるさとの歴史講座」などを実施した。

### 2002 年のできごと

#### ☆いわき

- ・常磐自動車道いわき四倉一広野開通。
- ・学校週 5 日制開始。
- ・ティーワンビル落成。
- ・秋篠宮ご夫婦来市。

#### ☆福島・日本・世界

- ・サッカー日韓ワールドカップ開催。
- ・拉致被害者帰国。
- ・ソルトレイクオリンピック開催。

#### ☆流行語

「タマちゃん」

## 平成 15 年度 (2003)

埋蔵文化財事業では、安手口・馬上線道路改良事業区域内埋蔵文化財（和具 B・C 遺跡）、国道 49 号北好間防災事業埋蔵文化財（中山 B 遺跡）、好間中学校埋蔵文化財（菊竹遺跡）などの市内の調査に加え、田村郡船引町前田遺跡など 21 件の事業を実施した。

施設管理事業では、「いわき市草野心平生家」（以下「心平生家」という）を加え、7 施設の管理運営を受託することとなった。各施設では、「いわきのサメの歯類化石展」、「縄紋からのメッセージ展」、「高村光太郎・智恵子展」、「伝統の技—紙漉き展」などの企画展や「いわきヒューマンカレッジ」などを実施した。

12 月 5 日、発掘調査中の遺跡で労災死亡事故が発生した。この事故を教訓として、同日を「安全の日」に制定し、更なる安全意識の高揚を図るさまざまな取り組みを行っている。

### 2003 年のできごと

#### ☆いわき

- ・総合保健福祉センター落成。
- ・市民栄誉賞創設。
- ・IT サポートセンター開設。
- ・大型ごみの有料収集開始。
- ・南の森スポーツパーク落成。

#### ☆福島・日本・世界

- ・朝青龍横綱となる。
- ・日本郵政公社が開業。
- ・地デジ放送開始。
- ・米、イラク戦争。

#### ☆流行語

「マニフェスト」



いわき市生涯学習プラザ利用状況（いわき市平字一丁目）



菊竹遺跡古墳周溝の調査状況（いわき市好間町）

## 平成 16 年度 (2004)

埋蔵文化財事業では、緊急雇用創出基金事業埋蔵文化財資料整理・分類事業、市内遺跡（玉山古墳範囲確認調査）、双葉郡浪江町国道 114 号線埋蔵文化財（南深町条里制跡）、双葉郡大熊町埋蔵文化財（道平遺跡他）試掘調査など 37 件の事業を実施した。

施設管理事業では、7 施設を受託した。音楽館では、市主催の「箏曲教室」が開催され、アンモナイトセンターでは「双葉層群の大型脊椎動物化石について」の公開シンポジウム、考古資料館では「いわきの氷河時代の道具」、文学館では「現代少年少女詩・童謡詩展」、伝承郷では「ヤマに生きる 一炭砵の暮らし展」などの企画展、学習プラザでは「第 1 回生涯学習フェスティバル」などを実施した。

啓蒙普及事業では、水品地区民からの要請による水品遺跡説明会を地区集会場で実施した。

### 2004 年のできごと

#### ☆いわき

- ・常磐消防署落成。
- ・中央台公民館落成。
- ・専称寺国指定重要文化財指定。
- ・鳴き砂サミット。

#### ☆福島・日本・世界

- ・米産牛肉輸入停止。
- ・新潟県中越地震。
- ・楽天イーグルス誕生。
- ・アテネオリンピック開催。

#### ☆流行語

「チョー気持ちいい」

## 平成 17 年度 (2005)

埋蔵文化財事業では、古宿竜沢線埋蔵文化財（白土城跡他）、市内遺跡（玉山古墳範囲確認調査）、双葉郡浪江町県道浪江落合線拡幅工事関連埋蔵文化財（丈六横穴群範囲確認調査）、原町市埋蔵文化財（大塚遺跡・野馬土手発掘調査）など 25 件の事業を実施した。

施設管理事業では、7 施設を受託した。アンモナイトセンターでは「双葉層群の化石展」や「いわきの魚化石展」、考古資料館では「文字から読む古代のいわき展」や「竪穴住居跡の変遷展」、「個人収蔵遺物展」、文学館では「野村たかあきの世界 絵本原画展」や「山村暮鳥展」、伝承郷では「東北の藁人形展」や「旅に出る ーいまの旅と昔の旅」などの企画展を開催した。学習プラザでは「紙しばい・絵本の読み聞かせ」などの事業を実施し、「まなびのw aいわき」、「プラザだより」を発行した。

### 2005 年のできごと

#### ☆いわき

- ・男女共同参画センター設置。
- ・根指宮御遺跡群が国指定史跡になる。
- ・櫛田一男市長誕生。

#### ☆福島・日本・世界

- ・福知山線脱線事故。
- ・紀宮殿下ご成婚。
- ・死亡数が出生数上回る。
- ・パキスタンで大地震。

#### ☆流行語

「想定内」



第 1 回生涯学習フェスティバルの様子（生涯学習プラザ）



和具 B 遺跡土坑検出状況（いわき市四倉町）



## 平成 18 年度 (2006)

埋蔵文化財事業では、国道 6 号埋蔵文化財（弘源寺貝塚）、双葉郡富岡町上の町 B 遺跡、楯葉町県道古谷広畑線埋蔵文化財（広畑遺跡）発掘調査、田村市市道改良に伴う試掘調査（大越町八木遺跡・金堀遺跡）など 22 件の事業を実施した。

施設管理事業では、7 施設を受託した。アンモナイトセンターでは「フタバズキリュウ展」、考古資料館では「装飾横穴墓展」など、文学館では「立原道造展」や「宮武外骨展」など、伝承郷では「THE てぬぐい展」などの企画展を開催した。学習プラザではいわき華道連合会との共催で「第 38 回諸流いけ花ば展」などの企画展、「いわき再発見講座」などの各種講座を開催した。

啓蒙普及事業では、「18 年度発掘調査速報展」と「遺跡報告会」、玉山古墳及び富岡町上の町 B 遺跡の現地説明会などを実施した。

### 2006 年のできごと

#### ☆いわき

- ・フタバズキリュウ学名きまる。
- ・「フラガール」全国一斉公開。
- ・市制 40 周年。

#### ☆福島・日本・世界

- ・佐藤雄平知事誕生。
- ・冬季トリノオリンピックで荒川静香金メダル。
- ・サッカーワールドカップドイツ大会。

#### ☆流行語

「イナバウアー」

## 平成 19 年度 (2007)

埋蔵文化財事業では、市道井上 1 号線埋蔵文化財発掘調査（井上遺跡）、双葉郡浪江町埋蔵文化財（沢東 B 遺跡）・楯葉町介護老人保健施設関連遺跡（井出上ノ原遺跡発掘調査）など 19 件の事業を実施した。

施設管理事業では、いわき市音楽館が平成 18 年度で廃館となったことから 6 施設を受託となった。アンモナイトセンターでは「双葉層群の貝類化石展」や「双葉層群の植物化石展」、考古資料館では「いわきの中世城館展」など、文学館では「植村直己展」や「新収蔵品展 日記と手紙に見る草野心平」、伝承郷では「いらっしやいませ！ 一時代を映す看板展」や「能面 — 能楽における面のかたち展」などの企画展を開催し、学習プラザでは市内各施設との連携事業による「私のいわき探訪」などを実施している。

### 2007 年のできごと

#### ☆いわき

- ・勿来「吹風殿」開設。
- ・東京事務所新橋に移転。
- ・LATOV オープン。
- ・総合図書館開館。

#### ☆福島・日本・世界

- ・タミフル異常行動問題。
- ・参院選で自民党が民主党に大敗。
- ・東国原宮崎県知誕生。
- ・郵政民営化。

#### ☆流行語

「どんだけー」



旧猪狩家と稲刈りを待つ水田（暮らしの伝承郷）



草野心平生家外観（いわき市小川町）

## 平成 20 年度 (2008)

埋蔵文化財事業では、市内遺跡発掘調査（玉山古墳）、国道 6 号久之浜バイパス埋蔵文化財発掘調査、双葉郡浪江町浪江浄化センター増設に伴う発掘調査（鹿屋敷遺跡）など 14 件の事業を実施した。

施設管理事業では、6 施設を受託した。アンモナイトセンターでは公開シンポジウム「いわきの恐竜時代Ⅴ」、考古資料館では「国史跡根岸官衙遺跡群展」、文学館では「石川啄木 貧苦と挫折を超えて」、伝承郷では「磯から沖へーいわきの漁具展ー」や「いわき鹿島の文人画とその周囲展」、学習プラザではアリオスとの共催による「現代演劇ポスター展」などを実施した。

啓発広報事業では、5 施設の共同企画展「石の宇宙展」を開催し、啓蒙普及事業では内郷公民館歴史講座や四倉公民館歴史講座を含む 19 回の出前講座などを実施した。

### 2008 年のできごと

#### ☆いわき

- ・野口雨情記念湯本温泉「童話館」開館。
- ・北部火葬場落成。
- ・観光まちづくりビューロー設立。

#### ☆福島・日本・世界

- ・橋下徹大阪府知事誕生。
- ・ダライラマ来日。
- ・観光庁発足。
- ・北京オリンピック開催。

#### ☆流行語

「ゲー」

## 平成 21 年度 (2009)

埋蔵文化財事業では、泉第三土地区画整理事業（御前田 A 遺跡）、南相馬市埋蔵文化財（野馬土手・原町西遺跡）の発掘調査、相馬市遺物図化業務（黒木田遺跡）等の遺物整理など 16 件の事業を実施した。

施設管理事業では、6 施設を受託した。

アンモナイトセンターでは「いわきの琥珀展」の開催、「親子自然探訪教室」の実施、考古資料館では「まつりと祈り展」、文学館では「くどうなおこの『のはらうた』」、伝承郷では「捕鯨絵巻に描かれる町と村」などの企画展を開催、学習プラザでは現代的課題に関する「家庭教育講座」などを実施した。

啓蒙普及事業では、三和公民館「三和の里歴史探訪」やいわき市社会福祉施設事業団「いきいきディクラブ」、など市内各公民館や学校、保養施設等での講座を実施した。

### 2009 年のできごと

#### ☆いわき

- ・三和トンネル貫通。
- ・「アリオス」開館。
- ・渡辺敬夫市長誕生。
- ・道の駅よつくら港オープン。

#### ☆福島・日本・世界

- ・民主党鳩山政権誕生。事業仕分け。
- ・裁判員裁判開始。
- ・オバマ政権誕生。

#### ☆流行語

「草食男子」



親子自然探訪教室の様子（アンモナイトセンター）



合張遺跡調査状況（双葉郡楢葉町）

## 平成 22 年度 (2010)

平成 23 年 3 月 11 日 (金) 午後 2 時 46 分に、東日本大震災が発生した。一部の建物に亀裂が生じるなどの損傷はあったが、受託施設に建物の倒壊はなく、また、発掘調査現場や受託施設での死傷者等も一切なかった。ただし、震災以降しばらくは、埋蔵文化財事業の中断をはじめ、受託施設の利用休止を余儀なくされた。

埋蔵文化財事業では、餓鬼堂地区埋蔵文化財（餓鬼堂横穴群）、宇根尻 B 遺跡などの市内遺跡、及び伊達郡川俣町櫛森遺跡、双葉郡浪江町埋蔵文化財（清水遺跡）試掘調査など 14 件の事業を実施した。

施設管理事業は、6 施設を受託した。考古資料館では「金冠塚古墳と勿来地区の飛鳥時代」などの企画展を実施した。

啓発広報事業は、教育文化施設等 5 施設による「写真から見た地域の指定文化財展」を開催した。

### 2010 年のできごと

#### ☆いわき

- ・第 1 回サンシャインマラソン開催。
- ・「石炭・化石館」リニューアルオープン。
- ・いわき三和トンネル開通。
- ・荷路夫バイパス開通。

#### ☆福島・日本・世界

- ・尖閣諸島で中国漁船巡視船に衝突。
- ・参院選で民主党大敗。
- ・チリ鉱山落盤事故。

#### ☆流行語

「女子会」

## 平成 23 年度 (2011)

東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故により、各事業の開始時期が遅れる結果となった。その間、各施設の復旧・保全作業を行いながら、被災施設の宿・日直など市の災害支援活動に参加・協力を行った。

埋蔵文化財事業では、南会津郡下郷町下平遺跡や東白川郡矢祭町前平遺跡発掘調査など 14 件の事業を実施した。

施設管理事業では、事業再開後の各施設において利用休止及び利用時間や利用場所の制限をするなど、安全確保に万全を期すとともに施設の早期復旧に努めた。なお、11 月 1 日から、いわき市久之浜町田之網字向山 53 に所在する、福島県の「福島県いわき海浜自然の家」(以下、「海浜自然の家」という)を加え、7 施設の管理運営を受託することとなった。

### 2011 年のできごと

#### ☆いわき

- ・東日本大震災発生。
- ・アクアマリンふくしま再オープン。
- ・浜風商店街開店。
- ・がんばっぺ!いわき復興祭。

#### ☆福島・日本・世界

- ・東京電力福島第一原子力発電所で爆発事故発生。
- ・野田政権誕生。
- ・なでしこジャパン世界一。
- ・金正日死去。

#### ☆流行語

「絆」



東日本大震災による被害状況 (生涯学習プラザ)



福島県いわき海浜自然の家全景 (いわき市久之浜町)

## 平成 24 年度 (2012)

埋蔵文化財事業では、餓鬼堂地区埋蔵文化財（餓鬼堂横穴群）や久之浜バイパス遺跡（静遺跡）、住吉館跡、南会津郡下郷町小平城跡発掘調査など 25 件の事業を実施した。

施設管理事業では、7 施設を受託した。震災後に受託した海浜自然の家と 7 月に利用を再開したアンモナイトセンターを除く施設では、利用者数の割合が震災前の 7～9 割に回復した。震災以来閉館していたアンモナイトセンターは、平成 25 年 1 月に屋外での体験発掘を再開した。考古資料館では「はにわの世界展」、文学館では「草野心平の愛した動物たち」、「いわき市・延岡市兄弟都市締結 15 周年記念企画展 若山牧水展」などの企画展を開催、学習プラザでの主催講座は、震災前と同じ 24 講座を実施した。

啓蒙普及事業では、神谷公民館市民講座を実施した。また、前年に引き続き、滋賀次世代文化芸術センターを中心とする、第 2 回被災地支援活動事業を考古資料館および伝承郷で実施した。

### 2011 年のできごと

#### ☆いわき

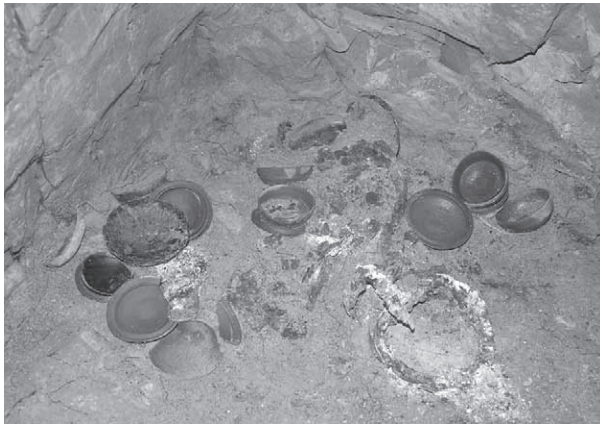
- ・「道の駅よつくら港交流館」開館。
- ・小名浜みごとフェスティバル。
- ・屋内遊び場開園。

#### ☆福島・日本・世界

- ・福島第一原子力発電所、第 1 - 4 号機廃炉決定。
- ・東京スカイツリー開業。
- ・自民党安倍政権誕生。
- ・オバマ大統領再選。
- ・ロンドンオリンピック開催。

#### ☆流行語

「ワイルドだろお」



餓鬼堂横穴群遺物出土状況（いわき市平薄磯）



再開された一般体験発掘（アンモナイトセンター）



企画展「若山牧水展」（草野心平記念文学館）



「いわき♥滋賀キッズミュージアム」（暮らしの伝承郷）

## 付録1 調査遺跡一覧

### 昭和53年度(1978)

#### 本発掘調査

愛谷遺跡 馬場横穴群 一町田横穴群 平バイパス分布調査

#### 試掘調査

常磐バイパス路線内

### 昭和54年度(1979)

#### 本発掘調査

愛谷遺跡 八幡台遺跡 内宿遺跡 天神原遺跡(檜葉町)

### 昭和55年度(1980)

#### 本発掘調査

愛谷遺跡 弾正作横穴群A・B地区 日吉下遺跡A地区 竹之内遺跡

### 昭和56年度(1981)

#### 本発掘調査

日吉下遺跡B地区 弾正作横穴群A・B・C地区 四郎作遺跡 八幡横穴群2次 白水阿弥陀堂

#### 試掘調査

明神平遺跡 神力前遺跡 平窪諸荷遺跡 林作遺跡

### 昭和57年度(1982)

#### 本発掘調査

平窪諸荷遺跡 根古屋遺跡 上野遺跡 埜沢遺跡 薄磯貝塚A地区 龍門寺遺跡 日吉下遺跡 岸遺跡 出口遺跡

#### 試掘調査

東瀬戸遺跡 上野遺跡 埜沢遺跡 岸遺跡

### 昭和58年度(1983)

#### 本発掘調査

龍門寺遺跡 応時遺跡 西原遺跡 上ノ内遺跡 綱取貝塚1次・2次 向畑横穴群 作B遺跡 広畑遺跡 白米中坪遺跡 愛谷条里遺構 北反遺跡

#### 試掘調査

御代遺跡 砂屋戸荒川館跡

### 昭和59年度(1984)

#### 本発掘調査

砂屋戸荒川館跡 上ノ台遺跡 館遺跡 綱取貝塚3次 応時遺跡A・B地区 郡遺跡 白米中坪遺跡 大作横穴群 石坂遺跡 寺台遺跡 向山遺跡 八幡台遺跡 桜堀遺跡

#### 試掘調査

館遺跡 上平石遺跡 滝浪遺跡 北ノ作遺跡 米田条里制遺構 屋敷前遺跡

### 昭和60年度(1985)

#### 本発掘調査

久世原館跡 久世原館跡・番匠地遺跡1次 綱取貝塚4・5・6次 御台遺跡 向山遺跡 寺台遺跡 石坂遺跡 館ノ内遺跡 橋出横穴群 吉野谷館跡 米田条里制遺構2次 屋敷前遺跡

#### 試掘調査

熊ノ倉遺跡 台ノ下遺跡 五味作遺跡 米田条里制遺構3次 御台遺跡 館ノ内遺跡 御台横穴A群 夏井廃寺跡3次

### 昭和61年度(1986)

#### 本発掘調査

綱取貝塚7次 久世原館跡・番匠地遺跡2次 小申田横穴群 番匠地遺跡・久世原館跡

1次 御台横穴A群

#### 試掘調査

牛転古墳群 堰下横穴群 稻荷原遺跡1次  
大畑E遺跡1次 夏井廃寺跡4次

### 昭和62年度(1987)

#### 本発掘調査

久世原館跡・番匠地遺跡2次 久世原館跡・  
番匠地遺跡3次 稻荷原遺跡 大畑E遺跡  
中山館跡Ⅱ・Ⅲ区 館崎横穴群 下平石遺跡  
植岸遺跡

#### 試掘調査

中山館跡 植田郷B遺跡 夏井廃寺跡5次  
岩間遺跡

### 昭和63年度(1988)

#### 本発掘調査

久世原館跡・番匠地遺跡4次 番匠地遺跡・  
久世原館跡3次 小山遺跡 中山館跡Ⅱ・  
Ⅲ区 植田郷B遺跡 岩間遺跡 戸田条里遺  
跡1次 綱取貝塚8次 久世原館跡 折返  
B遺跡1次 久世原館跡 荒田目条里制遺構・  
砂畑遺跡 久世原館跡

#### 試掘調査

夏井廃寺跡6次 梅ノ作瓦窯跡群 馬渡遺  
跡

### 平成元年度(1989)

#### 本発掘調査

大堀A遺跡 泉城跡1次 滝ノ作遺跡 大  
畑A遺跡 大畑F遺跡 大畑横穴群 折返B  
遺跡 馬渡遺跡 戸田条里遺跡2次 久世  
原館跡・番匠地遺跡5次 久世原館跡 荒  
田目条里制遺跡 植田郷B遺跡 中山館跡Ⅰ  
区

#### 試掘調査

高倉遺跡

### 平成2年度(1990)

#### 本発掘調査

大堀A遺跡 大畑A・F遺跡 荒田目条里制  
遺構・砂畑遺跡 泉城跡2次 滝ノ作遺跡  
井上遺跡 須賀蛭A・C遺跡 須賀蛭B遺跡  
清水遺跡 高戸A遺跡1次 大久保遺跡  
小茶円遺跡

#### 試掘調査

根岸遺跡3次

### 平成3年度(1991)

#### 本発掘調査

小茶円A・B遺跡 清水C遺跡 番匠地遺跡  
差塩B遺跡 道添B遺跡 匠番柵館跡 高戸  
A遺跡2次 須賀蛭A遺跡2次 塙横穴群  
小茶円遺跡 殿田館跡 差塩D遺跡 大仁田  
A遺跡 大久保遺跡

#### 試掘調査

根岸遺跡4次 塙横穴群 匠番柵館跡 道  
添B遺跡 差塩B・C・D・E・F遺跡 南  
山A遺跡 中ノ内C遺跡 駅B遺跡 川下遺  
跡 南山B遺跡 駅A遺跡 銅屋作遺跡

### 平成4年度(1992)

#### 本発掘調査

落合遺跡 小茶円遺跡 荒田目条里制遺構・  
砂畑遺跡 番匠地遺跡 清水遺跡 南山A遺  
跡 中ノ内C遺跡 駅B遺跡 中倉B遺跡  
殿田館跡2次 差塩C遺跡 差塩D遺跡2  
次 差塩E遺跡 千代鶴横穴群 泉町C遺跡  
1区 折返B遺跡1区 川前地区ほ場整備  
砂畑遺跡B地区 中ノ内C遺跡細戸地区 折  
返A遺跡

#### 試掘調査

岡小名小館跡 中郡遺跡 銅屋作遺跡 根岸  
遺跡5次 宇根尻A・D遺跡 尾ノ内遺跡  
中ノ内C遺跡(細戸地区) 中倉B遺跡

## 平成5年度(1993)

### 本発掘調査

荒田目条里制遺構 清水遺跡 小茶円遺跡金沢地区 砂畑遺跡 菅俣B遺跡1区 折返A遺跡2・3区 高月館跡 滝尻城跡A 根岸遺跡6次 上ノ原C遺跡 神力前B遺跡1区 相子島貝塚 神力前B遺跡2区 国塚遺跡

### 試掘調査

常磐自動車道試掘(13遺跡) 上ノ原B遺跡 上ノ台遺跡 屋敷前遺跡 不動堂遺跡 大平B・C・D遺跡 大谷遺跡 横山B・C遺跡 原田窯跡群 原田C遺跡 五反田A遺跡 相子島貝塚 根岸遺跡6次

## 平成6年度(1994)

### 本発掘調査

相子島貝塚 白岩横穴群 折返A5区 小茶円遺跡B区 小茶円遺跡C地区 大平B遺跡 泉町C遺跡2区 西殿町遺跡 五反田A遺跡 折返B遺跡5区 小茶円遺跡5区 原田窯跡 原田C遺跡 白岩堀ノ内館跡 荒田目条里制遺構F1地区 上ノ台遺跡 横山遺跡 横山古墳群

### 試掘調査

菅俣B遺跡 折返A遺跡 折返B遺跡 神力前B遺跡 泉町A遺跡 泉町C遺跡 御前田A遺跡 御前田B遺跡 根岸遺跡7次

## 平成7年度(1995)

### 本発掘調査

砂畑遺跡 荒田目条里制遺構F1地区 泉町C遺跡3区 大平C遺跡 上ノ台遺跡 湯長谷館跡 大谷遺跡 上ノ原B遺跡 屋敷前遺跡 広畑B遺跡 中田遺跡 連郷B遺跡 白岩堀ノ内館跡2次 登館跡 連郷遺跡

### 試掘調査

連郷遺跡 根岸遺跡8次

## 平成8年度(1996)

### 本発掘調査

上ノ台遺跡 屋敷前遺跡 大谷遺跡 横山B遺跡 連郷B遺跡 白岩堀ノ内遺跡 大谷遺跡 花ノ井遺跡 泉町C遺跡4区 泉町C遺跡5区 梅ノ房遺跡 四倉地区分布調査(北部工業団地) 折返A遺跡6区 神力前B遺跡3区

### 試掘調査

松ノ下遺跡 根岸遺跡9次

## 平成9年度(1997)

### 本発掘調査

上ノ台遺跡 大谷遺跡 連郷遺跡 大場C遺跡 下川子田横穴群 連郷遺跡 散野遺跡 内宿遺跡 折返A遺跡7区 折返A遺跡8区 折返A遺跡2区 菅俣B遺跡2区 神力前B遺跡4区

### 試掘調査

上ノ内遺跡 根岸遺跡10次 湯長谷館跡

## 平成10年度(1998)

### 本発掘調査

稲荷原遺跡 連郷遺跡 石坪遺跡 平窪諸荷遺跡 湯長谷館跡 折返B遺跡3区 松ノ下遺跡 小茶円遺跡馬場地区 上ノ内遺跡 神力前B遺跡5～10区 下川子田横穴群

### 試掘調査

根廻遺跡 岸前遺跡 鷺内遺跡 根岸遺跡11次 夏井廃寺跡7次

## 平成11年度(1999)

### 本発掘調査

郡遺跡 広畑B遺跡 神力前B遺跡11～17区 連郷遺跡 松ノ下遺跡 下川子田横穴群 石坪遺跡 折返B遺跡4・5区

### 試掘調査

折返B遺跡 鷺内遺跡

## 平成 12 年度 (2000)

### 本発掘調査

湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡 堂ノ原遺跡(広野町) 横山古墳群 神力前 B 遺跡 17・18 区 横山古墳群 B 小茶円遺跡 折返 B 遺跡 6 区 千速 A 遺跡 栗木作遺跡

### 試掘調査

栗木作遺跡 金波遺跡 北ノ作 B 遺跡 夏井廃寺跡 8 次 桜町遺跡

## 平成 13 年度 (2001)

### 本発掘調査

桜町遺跡 湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡 栗木作遺跡 梅ノ作瓦窯跡群 上田郷 VI 遺跡(広野町) 大畑 D 遺跡 日陰遺跡 北ノ作館跡 栗木作遺跡 根室遺跡 入藪 B 遺跡 荒田目条里制遺構

### 試掘調査

下平石遺跡 綱取貝塚 綱取貝塚 9 次 下平石遺跡 夏井廃寺跡 9 次 入藪 B 遺跡 根室遺跡 平窪地区 北ノ作館跡 大畑 D 遺跡 酢釜遺跡ほか

## 平成 14 年度 (2002)

### 本発掘調査

入藪 B 遺跡 泉・渡辺町条里制跡 小名田遺跡 根室遺跡 栗木作遺跡 荒田目条里制遺構

### 試掘調査

根室遺跡 夏井廃寺跡 10 次 井上遺跡 酒井堀ノ内遺跡 連郷遺跡 薄磯貝塚 反田遺跡 泉・渡辺町条里制跡 小名田遺跡

## 平成 15 年度 (2003)

### 本発掘調査

新田遺跡 1 次(中島村) 代東遺跡(櫛葉町) 泉町 C 遺跡 6～9 区 根室遺跡 中山 B 遺跡 薄磯貝塚 三反田遺跡 菊竹遺跡 日吉

下遺跡

### 試掘調査

久原 A 遺跡ほか 万谷遺跡 渡戸滝中子遺跡 鍛冶内遺跡 西郷貝塚 道上遺跡 六枚内遺跡 原田 C 遺跡 和具 B・C 遺跡 平窪諸荷遺跡 日吉下遺跡 菊竹遺跡 水品遺跡 小茶円遺跡 梅ノ房遺跡 窪田大槻条里制跡 愛谷条里制跡 塩沢遺跡 夏井廃寺跡 11 次 八茎 C 遺跡

## 平成 16 年度 (2004)

### 本発掘調査

和具 B・C 遺跡 腰巻横穴群 新田遺跡 1 代東遺跡 水品遺跡 1 玉山古墳 原田 C 遺跡 新田遺跡 2 次(中島村) 小茶円遺跡 水品遺跡 2 大塚遺跡 柳町横穴 B 群 鶴巻横穴墓群 林崎横穴群 泉町 C 遺跡 10 区

### 試掘調査

道平・北原日向遺跡(大熊町) 夏井廃寺跡 綱取貝塚 南深町条里制跡(浪江町) 須賀蛭 C 遺跡 磐崎中学校遺跡 赤井諸荷遺跡 西小川館跡・館遺跡 田代原 A 遺跡 白土城跡 下ノ内館跡 走熊館跡 柳生館跡 水品遺跡 好間条里型地割 新田遺跡(中島町) 上遠野城跡 笹内遺跡(田村市) 鶴巻横穴群 林崎横穴群 玉山古墳 柳町横穴 B 群 腰巻横穴群

## 平成 17 年度 (2005)

### 本発掘調査

白土城跡 田代原 A 遺跡 泉町 C 遺跡 11 区 泉町 C 遺跡 12 区 久之浜バイパス 水品遺跡 和具 B・C 遺跡 大塚遺跡・野間土手(南相馬市) 平城跡 下ノ内館跡 新田遺跡 3 次 餓鬼堂横穴群

### 試掘調査

菊竹遺跡 忠教寺遺跡 原田 C 遺跡 横山古墳群 B 平城跡 窪田城跡 根室遺跡 湯長



谷館跡 専称寺境域 白土城跡 追合B遺跡  
中柴外城跡 原町遺跡 玉山古墳 和歌城跡  
小原遺跡 鍋塚遺跡(広野町) 妙高院前遺  
跡 犬松沢遺跡 板宮遺跡 泉城跡 丈六横  
穴群(浪江町) 馬玉貝塚 久之浜バイパス  
梅ノ房遺跡 急傾斜地対策事業 浄土寺前遺  
跡 山ノ内B遺跡

## 平成 18 年度 (2006)

### 本発掘調査

玉山古墳 水品遺跡 林崎横穴群 白土城跡  
弘源寺貝塚 上の町B遺跡 御前田A・B遺  
跡 和具B遺跡 和具C遺跡 広畑遺跡 泉  
町C遺跡 13区 大塚遺跡・野馬土手(南相  
馬市) 餓鬼堂横穴群 中田原遺跡 井出上  
ノ原遺跡(楢葉町) 古川遺跡

### 試掘調査

尾ノ内B遺跡 永井遺跡 新屋敷B遺跡 高  
坂館跡 御前田A・B遺跡 大越鳴神城跡(田  
村市) 井上遺跡 酒井堀ノ内遺跡 原極遺  
跡 大平B遺跡 泉城下町遺跡 酒井原遺跡  
岡ノ内館跡 泉町C遺跡 東禅寺館跡(広野  
町) 白土城跡 古川遺跡御宝殿遺跡 大谷  
遺跡 中田原遺跡 八木遺跡・金堀遺跡(小  
野町)

## 平成 19 年度 (2007)

### 本発掘調査

中田原遺跡 井出上ノ原遺跡(楢葉町) 弘  
源寺貝塚 古川遺跡 沢東B遺跡(浪江町)  
井上遺跡 泉町C遺跡 14区 玉山古墳 犬  
松沢遺跡 餓鬼堂横穴群 小原遺跡

### 試掘調査

金冠塚古墳 酒井酒井原遺跡 国魂館跡 久  
之浜バイパス遺跡C・D地点 根岸遺跡 水  
品遺跡 広畑B遺跡 上ノ原A遺跡 原古墳  
(隣接) 泉町C遺跡 14区 大野中学校前B  
遺跡 南大坂遺跡(浪江町) 荒川館跡 犬

松沢遺跡 小原遺跡 寺脇貝塚 6号久之浜  
バイパス遺跡F・H地点

## 平成 20 年度 (2008)

### 本発掘調査

鹿屋敷遺跡(浪江町) 根岸遺跡 野馬土手・  
原町西町遺跡(南相馬市) 水品遺跡 御前田  
A・泉町A遺跡

### 試掘調査

長友館跡 犬松沢遺跡 平窪条里制遺跡 沖  
流遺跡 専称寺境域 餓鬼堂横穴群 赤井館  
跡 根岸遺跡 泉町C遺跡 須賀蛭A遺跡  
竹ノ内遺跡 井上遺跡 久之浜バイパス遺跡  
E・G地点 大場B遺跡 大場D遺跡 鬼越  
遺跡 久之浜バイパス遺跡F・I地点 大乘  
坊B遺跡 館ノ内遺跡

## 平成 21 年度 (2009)

### 本発掘調査

御前田A遺跡1区・泉町A遺跡2区 泉町  
C遺跡15区 犬松沢遺跡 餓鬼堂横穴群  
合張遺跡(楢葉町)

### 試掘調査

広畑B遺跡 鬼越館跡 白岩堀ノ内遺跡 中  
田遺跡 平城跡 片寄貝塚 泉町C遺跡 大  
仁田A遺跡 餓鬼堂横穴群 花ノ井A遺跡  
酒井酒井原遺跡 西枝館跡 汐見館跡 宇根  
尻B遺跡 白岩堀ノ内遺跡 中島館跡 北白  
土堀ノ内館跡 大野地区ほ場整備

## 平成 22 年度 (2010)

### 本発掘調査

泉町C遺跡 大場D遺跡 宇根尻B遺跡 餓  
鬼堂横穴群(県) 明神遺跡(下郷町) 櫛森  
遺跡(川俣町) 清水遺跡(浪江町)

### 試掘調査

桜台遺跡 北境遺跡 北白土堀ノ内館跡 和  
具B遺跡 根岸遺跡 泉町C遺跡 平城跡

松ノ下遺跡 北郡遺跡 中塩館跡 酢釜B遺跡 湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡 御前田A遺跡 上山田館跡 窪田馬場B遺跡1 小茶円遺跡 御堂遺跡 川和久遺跡 久之浜バイパス遺跡H・I地点 清水遺跡(浪江町)

## 平成23年度(2011)

### 本発掘調査

御前田A遺跡 泉町A遺跡 下平遺跡(下郷町) 桐森遺跡(川俣町) 前平遺跡(矢祭町) 住吉館跡

### 試掘調査

久之浜バイパス遺跡H・I地点 埋蔵文化財等の確認調査 窪田酒井原遺跡 磐城平城跡 塗師櫓石垣 中田原遺跡 後田遺跡 古川遺跡 根岸遺跡 住吉館跡 平城跡 泉城下町遺跡 坪内遺跡 真石B遺跡 横根古墳・横根館跡 田中内島館跡 小谷作広畑遺跡 馬玉貝塚 酒井酒井原遺跡 北境遺跡 久之浜条里跡 磯見館跡 大場B遺跡 林崎C遺跡 内郷綴町条里跡 駒込馬場B遺跡 荒田目条里跡(隣接) 窪田馬場B遺跡 原極遺跡 玉山館跡・御城遺跡 古川遺跡 上遠野城跡 高日根城跡

## 平成24年度(2012)

### 本発掘調査

小平城跡(下郷町) 餓鬼堂横穴群(県) 静遺跡 湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡 水品遺跡 住吉館跡 泉町C遺跡17区 烏内横穴群 南作横穴群

### 試掘調査

中田遺跡 好間条里跡 下高久馬場B遺跡 上野遺跡 小茶円遺跡・荒田目条里跡 神谷作古墳群 八帆入遺跡 牛転遺跡・牛転古墳群 酒井酒井原遺跡 泉城 下町遺跡 中田原遺跡 木船遺跡 竜ヶ崎遺跡 北境遺跡 北郡遺跡 泉町C遺跡 山下谷遺跡 酒井上

ノ台遺跡 諏訪作遺跡 応時遺跡 関船館下遺跡 上船尾館跡 忠多A遺跡 大島遺跡 専称寺境域(総門) 小谷作広畑遺跡 末続遺跡 末続館跡 久之浜条里跡・磐出館跡 薄磯貝塚 小原遺跡 薄磯貝塚および薄磯・豊間高台造成予定地 関ノ上遺跡 須賀蛭C遺跡 久之浜バイパスE地点(前上ノ山遺跡)

## 付録2 刊行図書目録

### ○いわき市埋蔵文化財調査報告

第5冊 八幡台遺跡	1980.4.30
第6冊 朝日長者遺跡・夕日長者遺跡	1981.3.15
第7冊 内宿遺跡	1982.3.31
第8冊 竹之内遺跡	1982.3.31
第9冊 日吉下遺跡	1983.3.31
第10冊 四郎作遺跡	1983.3.31
第11冊 龍門寺遺跡	1985.3.31
第12冊 愛谷遺跡 I～VI	1985.3.30
弾正作横穴群VII	1985.3.31
第13冊 弘源寺貝塚	1986.3.31
第14冊 向山遺跡	1986.9.30
第15冊 白米中坪 A・B 遺跡	1987.3.31
第16冊 上ノ台遺跡	1987.3.31
第17冊 石坂遺跡	1987.12.25
第18冊 寺台遺跡	1988.1.31
第19冊 薄磯貝塚	1988.3.31
第20冊 小申田横穴群	1988.3.31
第21冊 屋敷前遺跡	1988.3.31
第22冊 下平石遺跡	1989.2.15
第23冊 館崎横穴群	1989.3.20
第24冊 番匠地遺跡・久世原館跡	1989.3.31
第25冊 御台横穴 A 群・御台遺跡	1989.3.25
第26冊 久世原館	1989.3.25
第27冊 岸遺跡	1990.3.29
第28冊 大畑 E 遺跡	1990.11.30
第29冊 戸田条里遺跡	1991.1.31
第30冊 久世原館跡	1991.3.28
第31冊 泉城跡	1992.3.25
第32冊 千代鶴横穴群	1993.2.25
第33冊 久世原館跡・番匠地遺跡第 I 篇	
久世原館跡・番匠地遺跡第 II 篇	
久世原館跡・番匠地遺跡第 III 篇	

### 久世原館跡・番匠地遺跡第IV篇

	1993.3.26
第34冊 常磐自動車道遺跡分布調査報告 2	1994.3.25
第35冊 小山遺跡	1994.3.25
第36冊 上ノ原 C 遺跡	1994.3.25
第37冊 滝尻城跡 A	1994.3.25
第38冊 上ノ内遺跡	1994.10.31
第39冊 小茶円遺跡	1994.8.31
第40冊 東北横断自動車道関連遺跡 I	
東北横断自動車道関連遺跡 II	1995.1.31
第41冊 泉第三土地区画整理事業地内埋蔵文化財予備調査報告	1995.2.28
第42冊 番匠地遺跡	1996.3.19
第43冊 原田窯跡・原田 C 遺跡	1996.3.25
第44冊 大平 B 遺跡・大平 C 遺跡	1996.10.1
第45冊 綱取貝塚	1996.10.2
第46冊 登館跡	1997.3.17
第47冊 相子島貝塚第 1・2 編	1997.3.19
第48冊 永田遺跡	1997.3.19
第49冊 大谷遺跡・花ノ井遺跡	1997.3.22
第50冊 泉町 C 遺跡	1997.3.25
第51冊 小茶円遺跡	1997.3.25
第52冊 中山館跡 II 区	1997.3.25
第53冊 上ノ内遺跡・湯長谷館跡	1998.3.22
第54冊 折返 A 遺跡	1998.3.25
第55冊 上ノ原経塚	1998.8.31
第56冊 連郷遺跡	1999.1.26
第57冊 五反田 A 遺跡	1999.2.25
第58冊 白岩堀ノ内館跡	1999.3.19
第59冊 小茶円遺跡(馬場地区)・上ノ内遺跡(第 2 次調査)	1999.3.24
第60冊 屋敷前遺跡	1999.3.25
第61冊 中山館跡 III 区	1999.3.24

第62冊 滝ノ作遺跡	1999.3.24	第97冊 湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡	2003.3.25
第63冊 清水遺跡	1999.3.24	第98冊 梅ノ作瓦窯跡群	2003.3.25
第64冊 大場 C 遺跡	1999.3.24	第99冊 平成 15 年度市内遺跡試掘調査報告	2004.3.25
第65冊 白岩堀ノ内遺跡	2000.3.17	第100冊 薄磯貝塚（三反田B遺跡）	2004.3.17
第66冊 下川子田横穴群	2000.3.17	第101冊 中山 B 遺跡	2004.3.19
第67冊 上ノ台遺跡	2000.3.25	第102冊 荒田目条里制遺構	2004.3.19
第68冊 大谷遺跡	2000.3.25	第103冊 折返 B 遺跡	2004.3.25
第69冊 中山館跡 I 区	2000.3.24	第104冊 牛転古墳群・小茶円遺跡・砂畑遺跡・ 内宿遺跡	2004.3.25
第70冊 連郷 B 遺跡	2000.3.24	第105冊 作 B 遺跡	2004.3.25
第71冊 郡遺跡・広畑 B 遺跡	2000.3.24	第106冊 折返 B 遺跡 1 区	2004.8.31
第72冊 根岸遺跡	2000.3.25	第107冊 夏井廃寺跡	2004.9.29
第73冊 松ノ下遺跡	2001.3.19	第108冊 平成 16 年度市内遺跡試掘調査報告	2005.3.25
第74冊 石坪遺跡	2001.3.22	第109冊 根室遺跡	2005.3.11
第75冊 荒田目条里遺跡	2001.3.22	第110冊 菊竹遺跡	2005.3.25
第76冊 小茶円遺跡	2001.3.22	第111冊 原田 C 遺跡	2005.9.26
第77冊 横山 B 遺跡	2001.3.23	第112冊 小茶円遺跡	2006.3.3
第78冊 横山古墳群 B、金波遺跡・北ノ作 B 遺跡	2001.3.23	第113冊 平成 17 年度市内遺跡試掘調査報告	2006.3.27
第79冊 千速 A 遺跡	2001.12.6	第114冊 田代原 A 遺跡	2006.3.15
第80冊 稻荷原遺跡	2002.1.18	第115冊 応時遺跡	2006.1.17
第81冊 小茶円遺跡	2002.2.18	第116冊 白土城跡	2007.3.16
第82冊 横山古墳群	2002.1.31	第117冊 平城跡	2006.3.31
第83冊 平成 13 年度市内遺跡試掘調査報告	2002.3.25	第118冊 根古屋遺跡・上野遺跡	2007.3.22
第84冊 荒田目条里制遺構・砂畑遺跡	2002.3.22	第119冊 和具 B 遺跡・和具 C 遺跡	2007.2.20
第85冊 植田郷 B 遺跡	2002.3.22	第120冊 水品遺跡	2007.3.16
第86冊 日陰遺跡	2002.3.25	第121冊 白土城跡	2007.3.26
第87冊 栗木作遺跡	2002.3.25	第122冊 弘源寺貝塚	2007.3.30
第88冊 連郷遺跡	2002.3.22	第123冊 平成 18 年度市内遺跡試掘調査報告	2007.3.27
第89冊 上ノ台遺跡第 2 次	2002.7.30	第124冊 中田原遺跡	2008.1.30
第90冊 栗木作遺跡	2002.9.27	第125冊 白土城跡	2008.3.14
第91冊 桜町遺跡	2002.12.6	第126冊 神力前 B 遺跡 1～4 区	2008.3.28
第92冊 泉・渡辺町条里制跡	2002.11.27	第127冊 平城跡	2008.3.17
第93冊 綱取貝塚	2003.3.21	第128冊 平成 19 年度市内遺跡試掘調査報告	
第94冊 平成 14 年度市内遺跡試掘調査報告	2003.3.25		
第95冊 折返 A 遺跡・菅俣 B 遺跡	2003.3.25		
第96冊 入藪 B 遺跡	2003.3.20		

	2008.3.19
第129冊 小原遺跡	2008.9.30
第130冊 弘源寺貝塚	2009.2.16
第131冊 餓鬼堂横穴墓群	2009.2.10
第132冊 井上遺跡	2009.3.6
第133冊 網取貝塚	2009.3.18
第134冊 東瀬戸遺跡・西原遺跡・散野遺跡	2009.3.19
第135冊 玉山古墳	2009.3.19
第136冊 平成20年度市内遺跡試掘調査報告	2009.3.19
第137冊 犬松沢遺跡	2009.3.24
第138冊 神力前B遺跡	2009.3.27
第139冊 平成21年度市内遺跡試掘調査報告	2010.3.23
第140冊 根岸遺跡(第12次)	2010.3.15
第141冊 神谷作106号墳・白穴横穴群	2010.3.18
第142冊 水品遺跡	2010.3.25
第143冊 犬松沢遺跡	2010.3.25
第144冊 宇根尻B遺跡	2011.1.27
第145冊 平成22年度市内遺跡試掘調査報告	2011.3.28
第146冊 小田小路古墳	2011.3.25
第147冊 神力前B遺跡	2011.3.23
第148冊 八幡横穴群	2011.8.31
第149冊 平成23年度市内遺跡試掘調査報告	2012.3.20
第150冊 餓鬼堂横穴群2	2012.10.31
第151冊 鬼越下横穴群・一町田横穴群	2013.3.15
第152冊 住吉館跡	2013.3.25
第153冊 神力前B遺跡	2013.3.25
第154冊 古川遺跡	2013.3.25
第155冊 大場D遺跡	2013.3.27
第156冊 平成24年度市内遺跡試掘調査報告	2013.3.29
第157冊 烏内横穴群	2013.12.24

## ○調査報告・調査概要・図録等

愛谷遺跡の概要	1978.12.22
大畑貝塚調査報告	1980.1.15
竹之内遺跡の概要	1980.11.16
弾正作横穴群の概要	1981.4.19
四時ダム建設予定区域内学術調査報告	1981.4.28
薄磯貝塚	1982.3.20
龍門寺遺跡の概要	1983.7.3
砂屋戸荒川館調査概要	1985.10.1
応時遺跡緊急発掘調査概報	1984.3.31
館遺跡発掘調査概報	1985.3.29
応時遺跡－応時B遺跡発掘調査概報	1985.3.30
久世原館・番匠地遺跡の概要I	1986.11.15
夏井廃寺跡I	1987.3
久世原館・番匠地遺跡の概要II	1988.2.25
入間沢川首長竜化石発掘調査報告書	1988.3
夏井廃寺跡II	1988.3
夏井廃寺跡III	1989.1
いわき市四倉町産出鯨類化石発掘調査報告書	1989.3.24
いわき市小名浜の完新世自然貝層調査報告書	1989.3.28
大畑遺跡群の概要	1991.7.6
根岸遺跡－平成2・3年度概報－	1992.3
根岸遺跡－平成4年度概報－	1993.3
根岸遺跡－平成5年度概報－	1994.3
国塚遺跡発掘調査概報	1994.3.25
根岸遺跡－平成6年度概報－	1995.3
根岸遺跡－平成7年度概報－	1996.3.25
荒田日条里遺跡木簡略報	1996.3.25
根岸遺跡－平成8年度概報－	1997.3.25
根岸遺跡－平成9年度概報－	1998.3.25
平窪諸荷遺跡－平成10年度概報－	1998.11.30
夏井廃寺跡－平成12年度概報－	2001.3.23

夏井廃寺跡 ー平成 13 年度概報ー	2002.3.25
夏井廃寺跡 ー平成 14 年度概報ー	2003.3.25
玉山古墳 ー平成 16 年度概報ー	2005.3.30
腰巻横穴墓群	2005.3.30
玉山古墳 ー平成 17 年度概報ー	2006.3.27
玉山古墳 ー平成 18 年度概報ー	2007.3.27
玉山古墳 ー平成 19 年度概報ー	2008.3.24
ふるさとの考古資料	1979.10.9
いわきの化石・岩石図録	1979.10.8
ふるさとの考古資料Ⅱ	1984.2.25
いわきの宝物	1985.4.10
いわきの考古展	1987.2.21
よみがえるいわきの歴史	1990.2.24
いわきの歴史	2011.3.26
いわきの歴史	2011.6.30
いわき市の文化財	1980.8.9
いわき市の文化財	1993.10.7

### ○ 他市町村調査報告書

落合遺跡 (福島県福島県埋蔵文化財調査報告第 309 集)	1995.3.31
堂ノ原遺跡 (広野町文化財調査報告第 3 冊)	2002.3.19
上田郷Ⅵ遺跡 (広野町文化財調査報告第 4 冊)	2002.3.19
新田遺跡 (中島村文化財調査報告書第 3 集)	2004.2.16
代東遺跡 (楢葉町文化財調査報告書第 13 集)	2004.3.24
南深町条里制跡 (浪江町埋蔵文化財調査報告 第 16 冊)	2004.11.25
新田遺跡Ⅱ (中島村文化財調査報告書第 4 集)	2005.2.18
代東遺跡 (楢葉町文化財調査報告書第 13 集)	2005.2.25
新田遺跡Ⅲ (中島村文化財調査報告書第 5 集)	2006.3.22

沢東 B 遺跡 (浪江町埋蔵文化財調査報告第 18 冊)	2008.3.31
鹿屋敷遺跡 (浪江町埋蔵文化財調査報告第 19 冊)	2009.3.25
上の町 B 遺跡発掘調査報告 (富岡町)	2007.3.20
大塚遺跡・野馬土手 (南相馬市文化財調査報告 書第 5 集)	2007.3.20
広畑遺跡 (楢葉町文化財調査報告書第 16 集)	2007.3.22
合張遺跡 (楢葉町文化財調査報告書第 18 集)	2010.3.18
野馬土手・原町西町遺跡 (南相馬市文化財調査 報告書第 16 集)	2010.3.26
櫛森遺跡 (川俣町文化財調査報告書第 26 集)	2012.3.16
下平遺跡 (1 次)・明神遺跡・下平遺跡 (2 次)・ 小平城跡 (下郷町文化財調査報告書第 17 集)	2013.3.15
前平遺跡発掘調査報告 (矢祭町)	2013.3

### ○ 年 報

年報 1 昭和 53 年度～平成元年度	1991.3.31
年報 2 平成 2 年度	1992.1.30
年報 3 平成 3 年度	1992.9.30
年報 4 平成 4 年度	1994.3.10
年報 5 平成 5 年度	1995.2.28
年報 6 平成 6 年度	1996.2.28
年報 7 平成 7 年度	1997.3.29
年報 8 平成 8 年度	1998.3.16
年報 9 平成 9 年度	1999.1.20
年報 10 平成 10 年度	2000.3.27
年報 11 平成 11 年度	2001.3.28
年報 12 平成 12 年度	2001.9.28
年報 13 平成 13 年度	2003.3.28
年報 14 平成 14 年度	2004.3.26
年報 15 平成 15 年度	2005.3.18

## ○ 研究紀要

第1号	1988.3.22
第2号	1991.3.29
第3号	1992.1.31
第4号	1992.12.24
第5号	1993.11.10
第6号	1995.1.27
第7号	1996.1.19
第8号	1997.2.13
第9号	1998.3.13
第10号	1999.1.4
第11号	2000.12.20
第12号	2003.3.28
第13号	2005.3.25

## ○ いわき市史

第11巻 近代資料Ⅱ上	1980.3.20
第11巻 近代資料Ⅱ下	1981.7.20
第10巻 近代資料Ⅰ上	1983.3.30
第10巻 近代資料Ⅰ下	1985.3.29
第1巻 原始・古代・中世通史	1986.3.29
別巻 常磐炭田史	1989.8.31
第3巻 近代Ⅰ	1993.6.30
第4巻 近代Ⅱ	1994.6.20

## ○ 草野心平記念文学館図録等

草野心平 常設展示図録	1998.7.19
猪狩満直 企画展図録	1998.7.19
草野天平 企画展図録	1998.12.12
宮沢賢治 ー賢治と心平ー 図録	1999.7.3
吉野せい展図録	1999.10.2
童心の詩人 野口雨情 図録	2000.7.1
三野混沌展図録	2000.9.30
文学館ガイドブック みる・感じる・つくる	2001.3.3

中原中也展図録	2001.7.7
三猿文庫展図録	2001.10.6
童画の世界 武井武雄展図録	2002.7.6
昭和戦前のいわき 詩風土の開花展図録	2002.10.5
高村光太郎・智恵子展図録	2003.7.5
「歷程」創刊同人展図録	2003.10.4
真尾倍弘・悦子展図録	2004.7.10
現代少年少女詩・童謡詩展図録	2004.12.21
山村暮鳥展図録	2005.7.16
詩の上州展図録	2005.10.8
宮武外骨展図録	2006.11.18
新収蔵品展 日記と手紙にみる草野心平	2007.10.6
草野心平のカエル展	2008.4.19
「歷程」の軌跡展図録	2008.10.4
新収蔵品展 2011	2011.10.8
萩原朔太郎展	2012.1.21
草野心平の愛した動物たち	2012.4.14
若山牧水展	2012.7.7
坂本遼展	2012.10.6
草野心平の詩 恋愛編	2013.4.20
年報第1号(平成10年度)	2000.3.31
年報第2号(平成11年度)	2001.3.3
年報第3号(平成12年度)	2002.1.25
年報第4号(平成13年度)	2002.5.31
年報第5号(平成14年度)	2003.12.10
年報第6号(平成15年度)	2004.12.10
年報第7号(平成16年度)	2006.3.31
年報第8号(平成17年度)	2006.10.31
年報第9号(平成18年度)	2008.3.31
年報第10号(平成19年度)	2009.3.31
年報第11号(平成20年度)	2011.3.31
年報第12号(平成21年度)	2012.3.31
年報第13号(平成22年度)	2012.3.31
年報第14号(平成23年度)	2013.3.31

## ○いわき市暮らしの伝承郷年報等

『要覧(平成11年度—平成15年度)』	2005.3.31
平成16年度年報	2005.10.1
平成17年度年報	2006.6.30
平成18年度年報	2007.5.1

## ○いわき市生涯学習プラザ記録集等

天田愚庵関連資料集(文僧天田愚庵の生涯とその作品)	
平成14年度ヒューマンカレッジ(市民大学)修了生のレポート集	2003.2
平成14年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)「前田利家とまつの生涯」	2003.2
平成15年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2004.2
平成15年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集「今に通じる武蔵の生き方」	2004.2
平成16年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2005.2
平成16年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集「幕末は日本の青春—新撰組—」	2005.2
平成17年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2006.2
平成17年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集「義経と現代」	2006.2
平成18年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2007.2
平成19年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2008.2.14
平成20年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演&レポート集	2009.2.24
平成20年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集	2009.2.24

平成21年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2010.2.17
平成21年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集	2010.2.17
平成22年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2011.2.18
平成22年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集	2011.2.18
平成23年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2012.2.17
平成23年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集	2012.2.17
平成24年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)レポート集	2013.2.19
平成24年度いわきヒューマンカレッジ(市民大学)講演集	2013.2.19
市民大学の軌跡—いわきヒューマンカレッジ(市民大学)の10年—	2007.3
生涯学習ガイドブック—指導者編—	2003.3
生涯学習ガイドブック—団体・グループ編—	2001.3
生涯学習ガイドブック—指導者編—	2005.3
生涯学習ガイドブック—学習施設編—	2006.3
生涯学習ガイドブック—団体・グループ編—	2007.3
生涯学習ガイドブック—市民講師編—	2008.3





財団法人いわき市教育文化事業団シンボルマーク  
制定：平成9年10月1日 デザイン：平山 邦夫

---

財団法人いわき市教育文化事業団設立 35 周年記念誌

# 35 年 の あ ゆ み

発 行 平成 26 年 2 月 17 日

編集・発行 財団法人いわき市教育文化事業団  
福島県いわき市常磐藤原町手這 50-1  
TEL 0246-43-0391

印 刷 八 幡 印 刷 株 式 会 社  
福島県いわき市平字田町 82-13 TEL 0246-23-1471

---